高知家総合診療専門研修プログラム

目　次

1.　高知家総合診療専門研修プログラムについて　・・ 2
2.　総合診療専門研修はどのようにおこなわれるのか　・・ 4
3.　専攻医の到達目標（習得すべき知識・技能・態度など）　・・43
4.　各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得　・・48
5.　学問的姿勢について　・・48
6.　医師に必要な資質・能力、倫理性、社会性などについて　・・49
7.　施設群による研修プログラム及び地域医療についての考え方　・・49
8.　研修プログラムの施設群　・・50
9.　専攻医の受け入れ数について　・・54
10.　施設群における専門研修コースについて　・・54
11.　研修施設の概要　・・61
12.　専門研修の評価について　・・78
13.　専攻医の就業環境について　・・79
14.　専門研修プログラムの改善方法とサイトビジットについて　・・79
15.　修了判定について　・・80
16.　専攻医が研修プログラムの修了に向けて行なうべきこと　・・81
17.　サブスペシャルティ領域との連続性について　・・81
18.　総合診療研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件　・・81
19.　高知家総合診療専門研修管理委員会　・・82
20.　総合診療専門研修特任指導医　・・83
21.　専門研修実績記録システム、マニュアル等について　・・84
22.　専攻医の採用　・・84

1. 高知家総合診療専門研修プログラムについて

地域医療は、かかりつけ医としての診療所・中小病院、地域医療支援病院などの基幹的な医療機関、特定機能病院などが密に連携することで支えられています。今後、急速な高齢化が進むわが国においては、臓器別専門医だけではなく、適切な初期対応と継続的な医療をおこなう総合的な医師の専門性の確立が急務となっています。そうした社会からのニーズを受けて、基本診療領域の専門医として総合診療専門医が位置づけられました。

総合診療専門医の養成は以下の 3 つの理念に基づいて構築されています。

1) 総合診療専門医の質の向上を図り、以て、国民の健康・福祉に貢献することを第一の目標とする
2) 地域で活躍する総合診療専門医が、誇りをもって診療等に従事できる専門医資格とする。特に、これから、総合診療専門医資格の取得を目指す若手医師にとって、夢と希望を与える制度となることを目指す
3) わが国の今後の医療提供体制の構築に資する制度とする

こうした制度の理念に則って、高知家総合診療専門研修プログラム（以下、本研修プログラム）は病院、診療所などで活躍する確かな診療能力と、地域包括ケアシステムのリーダーとなる資質を備えた総合診療専門医を養成するために創設されました。高知県は全国に比して高齢化が 20 年進んでおり、中山間地域の過疎化も著しいものがあります。一方で、県内の医療資源は中央部に集中し、かつ、人口あたりのベッド数も全国一であり、入院医療への依存が高い県です。病院で患者さんを治す医療から地域で支える医療への転換が重要であり、県行政、大学、医師会、地域医療機関、住民が一緒になって考える環境があります。すでに、2004 年度からの医師臨床研修では県全体で共通の地域医療研修をおこなってきており、県内の臨床研修医はもとより、首都圏からも多数の研修医を受け入れてきた実績があります。こうした地域ニーズと、県を挙げての取り組みで専攻医には好適な研修環境を整えています。

専攻医は、日常遭遇する疾病や傷害等に対して適切な初期対応、継続的な医療をおこなうとともに、必要に応じて地域ニーズを踏まえた保健活動、介護、在宅医療、看取りなど保健・医療・福祉に包括的に取り組み、自己研鑽を積むことによって、診療能力と人格を兼ね備えた総合診療専門医となり、以下の機能を担うことを目指します。

1) 地域を支える診療所や病院においては、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わるその他職種と連携して、地域の保健・医療・介護・福祉等の様々な分野におけるリーダーシップを発揮しつつ、多様なサービス（在宅医療、緩和ケア、高齢者ケア等を含む）を包括的かつ柔軟に提供する
2) 総合診療部門を有する病院においては、臓器別でない病棟診療（高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括的ケア、癌・非癌患者の緩和ケア等）と臓器別でない外来診療（救急や複数の健康問題をもつ患者への包括的ケア）を提供する

本研修プログラムにおいては、指導医が専攻医の皆さんの教育・指導にあたりますが、専攻医自身が生涯にわたって問題解決型自己学習を続ける姿勢をもつことを期待しています。総合診療専門医は医師としての職業倫理を基盤として、総合診療の専門家であることを自覚しながら日々の診療にあたることが重要です。ワークライフバランスを保ちつつも自己研鑽を欠かさず、研究活動、教育活動にも積極的に携わることが求められます。本研修プログラムの修了後には、総合診療専門医として標準的な医療を安全に提供し、地域住民の公衆衛生の向上に寄与することが期待されています。

本研修プログラムでは、①総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・在宅医療中心）、②総合診療専門研修Ⅱ（病棟診療・急性期医療中心）、③内科、④小児科、⑤救急科の 5 つの必須領域と、本人のニーズに応じたその他の領域において 3 年間の研修をおこないます。これにより、１．包括的統合アプローチ、２．一般的な健康問題に対する診療能力、３．患者中心の医療・ケア、４．連携重視のマネジメント、５．地域包括ケアを含む地域志向アプローチ、６．公益に資する職業規範、７．多様な診療の場に対応する能力、という総合診療専門医に欠かせない 7 つの資質・能力を効果的に修得できます。

本研修プログラムは、高知大学医学部附属病院を専門研修基幹施設（以下、基幹施設）とし、高知県内の多くの専門研修連携施設（以下、連携施設）とともに施設群を構成し、地理的にも医療機能的にも多様な場での研修を提供します。それぞれの特徴を活かした研修により、総合診療専門医として必要な専門的、標準的、かつ安全な医療を学ぶことはもちろん、さまざまな専攻医のニーズに合うプログラムです。

2. 総合診療専門研修はどのようにおこなわれるのか

1) 研修の流れ:総合診療専門研修は、臨床研修修了後からの専門研修 3 年間でおこなわれます

- 1 年次は、患者の健康問題を把握し適切な評価をおこない、Common disease については、上級医の指導のもと治療方針を決定できることを目標とします
- 2 年次は、患者の健康問題について心理社会的な問題を含めた評価をおこない、多職種と協議しながら治療・ケアの方針を決定することを目標とします
- 3 年次修了時には、複数の健康問題を持つ患者、複雑な社会背景を抱える患者、在宅医療・看取りを必要とする患者に対し、多職種協働のもとで適切なマネジメントができることを目標とします
- 18 か月以上の総合診療専門研修を中心として 3 年間で「地域を診る」視点に基づきコミュニティアプローチができることを目標とします
- 3 年間を通して臨床的な疑問、公衆衛生的な課題に広く興味をもち研究活動をおこなうこと、臨床研修医、学生などへの教育活動がおこなえることを目標とします
- 3 年間の修了判定で以下の 3 つの要件が審査されます
  - ✓ 定められた研修領域を全て履修していること
  - ✓ 専攻医自身による自己評価と省察の記録、最良作品型経験省察研修録（ポートフォリオ）、多職種からの評価の全てが、プログラムの定める到達目標に達していること
  - ✓ 研修手帳に記録された経験目標がすべてカリキュラムに定められた基準に到達していること
- 様々な研修の場において、定められた到達目標と経験目標を常に意識しながら、よくある症候や疾患、その検査や治療手技を繰りかえし経験することにより、徐々にそのレベルを高めていき、自ら判断して対応あるいは実施できることを目指していきます

※ 具体的な研修コースについては、10. 施設群における専門研修コースについて（54 ページ）を参照してください。

2) 専門研修における学び方

専攻医の研修は、①臨床現場での学習、②臨床現場を離れた学習、③自己学習の大きく 3 つに分かれます。それぞれの学び方に習熟し、生涯にわたって学習していく基盤とすることが求められます。

① 臨床現場での学習

On-the-job training（OJT）を基盤とし、臨床上の疑問に対して EBM の方法論に則って文献等の収集、批判的吟味をおこなうプロセスと、総合診療、家庭医療の様々な理論やモデルを踏まえ経験そのものを省察して能力向上を図るプロセスを両輪とします。全研修期間にわたり、外来・病棟・救急・在宅の患者について個人情報に十分配慮した上で、そのプロブレムリストや自らのアセスメントを症例ログとして記録します。学習履歴と自己省察を記録し、経験省察研修録（ポートフォリオ）作成をおこなうことで専攻医自身が整理していき

ます。場に応じた教育方略は下記の通りです

(ア) 外来医療

経験目標に掲げるような幅広い症例を経験します。外来診察中には、指導医への症例提示、教育的フィードバックを受ける外来教育法（プリセプティング）をおこないます。診察終了後には、指導医とともにカルテレビューをおこないます。また、ビデオレビューにより、専攻医が自分自身の診療を指導医とともに振り返る機会をつくります。症例カンファレンスにより、臨床推論、家庭医療理論、臓器別専門医療との連携などを通じ総合診療の理解を深めます。専攻医の習熟度に応じた指導により、外来診療で日常的におこなう手技を修得します

(イ) 在宅医療

経験目標に掲げるような幅広い症例を経験します。初期は指導医とともに訪問診療をおこなうことで理解を深め、経験を積むことで、比較的安定している患者に対しては専攻医単独で訪問診療をおこないます。外来診療と同様に、症例提示、カルテレビューにより指導医よりフィードバックを受けます。また在宅医療に必要な医療技術についても専攻医の習熟度に応じて指導を受けます。主治医意見書、訪問看護指示書などの作成、多職種によるケア・カンファレンスにも参加し、連携する能力を身につけます

(ウ) 病棟医療

経験目標に掲げるような幅広い症例を経験します。外来診療と同様に、症例提示、カルテレビューにより指導医よりフィードバックを受けます。また、病棟回診、症例検討会、多職種の参加する病棟カンファレンス、退院前カンファレンスなどを通じて診断・検査・治療能力、退院支援、地域連携などのマネジメント能力を身につけます

(エ) 救急医療

経験目標に掲げるような幅広い症例を経験します。外来診療に準じた教育方略となりますが、特に救急において求められる迅速な意思決定プロセスを重視します。また、救急処置全般を指導医とともにおこない、直接観察指導を受けたり、必要に応じてシミュレーション研修で技能を習得します

(オ) 地域ケア

市町村の行政担当者、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション等とのカンファレンスなどを通じて、地域包括ケアシステムの一翼を担います。また、学校保健、産業保健、特定健診や予防接種などの保健活動にも参画します。指導医とともにおこなう振り返りの中で、地域ケアの意義を理解し、自分なりの改善点を発見します

② 臨床現場を離れた学習

(ア) 総合診療の 7 つの資質・能力をより深く理解するために、総合診療の基盤となる家庭医療の理論的背景を日本プライマリ・ケア連合学会等の学術集会やセミナー、研修会に参加し学習します

(イ) 県内でおこなわれる内科、小児科、感染症、医療安全、災害救急などの研修会に参加し学習します

(ウ) 本プログラム（年 3 回）や日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部（年 2 回）が開催する経験省察研修録（ポートフォリオ）発表会に参加し、自身の作成した経験省察研修録（ポートフォリオ）に指導医や他の専攻医からフィードバックを受け、より学びを深めます

(エ) 年 2 回本プログラムが主催する家庭医療・総合診療関連のセミナーに参加し、理解を深めます

③　自己学習

(ア) 研修プログラム内での学習を強化するために、総合診療、家庭医療等に関する各種テキスト、医学雑誌、ウエブサイト、日本医師会他の e-learning 教材、診療ガイドライン等を活用して自己研鑽に努めます

3)　専門研修における研究

研修プログラムにおいて生じる臨床的な疑問に対して問題解決型自己学習をおこないながら科学的かつ論理的思考を身につけます。専攻医は全研修期間を通じて積極的に学術活動をおこない、年 1 回程度、筆頭者としての学会等の発表、研修期間を通じて一編以上の論文発表（筆頭者）を目標とします。

本研修プログラムでは、高知大学医学部家庭医療学講座、附属病院総合診療部の教員が指導医として学術活動を支援します。

また、さらに学習を深めるためにも研修期間中からの高知大学大学院総合人間自然科学研究科等への社会人入学を推奨します。その際には、本来の研修に支障を来すことのないように、プログラム統括責任者と事前に十分に協議をおこない、研修管理委員会で承認を受けることを前提とします。

4)　研修の週間計画及び年間計画

高知大学医学部附属病院　消化器内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
9:00～13:00	外来		○		○	○		
9:00～12:00	内視鏡①			○	○			
13:00～15:00	内視鏡②		○					
15:00～17:00	内視鏡③				○			
	病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	IVR			○				
9:00～12:00	エコー下治療	○				○		
17:00～18:00	カンファレンス			○		○		
17:00～8:00	当直				○		○	

高知大学医学部附属病院　内分泌代謝・腎臓膠原病内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～17:15	病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30～14:00	初診外来		○		○			
8:30～14:00	再診外来	○	○		○	○		
9:00～12:00	教育カンファレンス及び回診（全体）			○				
15:00～16:00	症例検討会			○				
17:00～19:00	教育カンファレンス及び回診（糖尿病）		○					
17:00～18:00	教育カンファレンス（腎臓・膠原病）			○				
18:00～19:00	教育カンファレンス（内分泌）			○				
18:00～19:00	糖尿病チームカンファレンス（2 週に 1 回）			○				
19:00～20:30	腎臓病理教育カンファレンス(月 1 回)				○			
19:00～20:00	膠原病合同カンファレンス（2 か月に 1 回）			○				
19:00～20:00	リウマチセンター合同カンファレンス（2 か月に 1 回）			○				
17:15～8:30	当直（週 1 回程度）	○	○	○	○	○	○	○
8:30～17:15	日直（月 1 回程度）						○	○

高知大学医学部附属病院　呼吸器・アレルギー内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	初診外来	○			○			
8:30~12:00	再来外来	○			○			
13:00~17:15	病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30~10:00	呼吸器内科と合同カンファレンス		○					
13:00~16:00	気管支鏡検査			○		○		
16:00~16:30	呼吸器回診	○						
16:30~17:30	呼吸器カンファレンス	○						
8:30~ 17:15	日直（休日 1/月）						○	○
17:15~ 8:30	当直（平日 1/週）、休日 1/月）	○	○	○	○	○	○	○

高知大学医学部附属病院　血液内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	初診外来	○			○			
8:30~12:00	再来外来	○			○			
13:00~17:15	病棟業務	○	○	○	○	○		

8:30~10:00	カンファレンス		○					
10:00~12:00	病棟回診					○		
16:30~18:30	血液カンファレンス				○			
8:30~ 17:15	日直（休日 1/月）						○	○
17:15~ 8:30	当直（平日 1/週）、休日 1/月）	○	○	○	○	○	○	○

高知大学医学部附属病院　老年病・循環器内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00	抄読会/症例検討				○			
8;00-9:00	心臓外科と合同カンファレンス					○		
8:30-9:00	医局会/ケースカンファレンス	○	○					
9:00-12:00	外来	○		○		○		
9:00-12:00	カテーテル検査		○		○			
9:00-12:00	心エコー検査	○		○		○		
14:00-17:00	回診				○			
13:00-17:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
13:00-17:00	カテーテル検査		○		○			
17:00-18:00	カテーテル検査前検討会	○						
18:00-18:30	カテーテル検査前検討会			○				
17:00-8:00	当直（平日 1/週）、土日 1-2/月							

高知大学医学部附属病院　脳神経内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:10～8:25	ミーティング	○						
8:10～8:40	症例検討		○					
8:10～8:40	神経内科抄読会				○			
8:15～10:00	SCU 回診(希望者)					(○)		
9:00～12:00	外来実習(新患)	○		○				
9:00～12:00	神経生理検査(実地指導)		○			○		
9:00～12:00	病棟業務[検査の無い時]		○			○		
10:00～12:00	回診				○			
13:00～16:30	外来実習(再来)	○		○				
13:00～16:30	病棟業務[再来･検査の無い時]	○	○	○	○	○		
16:30～17:00	カルテレビュー	○						
17:00～18:00	小回診	○						
17:00～8:00	当直（平日 1/週）、土日 1~2/月）	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)

高知大学医学部附属病院　小児科（小児科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:20	病棟診察	○	○	○	○	○		
8:20～9:00	朝カンファレンス(申送り)/グループ(チーム）回診	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	病棟業務または一般外来	○	○	○	○	○		
13:00～17:00	病棟業務または外来（専門外来、救急）/ハンズオンセミナー（不定期）		○	○		○		
13:00～15:00	病棟回診	○						
13:30～14:00	新生児病棟回診				○			
14:00～17:00	病棟カンファレンス/症例検討会				○			
15:00～17:00	グループ（チーム）カンファレンス	○						
17:00～17:30	申送り	○	○	○	○	○		
17:30～18:00	抄読会				○			
17:30～19:00	研究報告会、学会報告会（不定期）	○			○			
17:30～19:00	ふりかえり（1/月）					○		
18:00～19:00	周産期カンファレンス		○					
18:30～21:00	小児科定例会（1/1-2 か月）				○			
17:00～8:00	当直（平日 1/週）	○						
8:00～8:00	当直または待機（休日 2/月）						○	

高知大学医学部附属病院　整形外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
7:30~8:30	モーニングカンファレンス	○		○		○		
7:30~8:30	ジャーナルクラブ				○			
8:30~12:00	病棟業務		○		○			
8:30~12:00	外来業務	○						
8:30~12:00	手術			○		○		
13:00~17:00	検査	○			○			
13:00~17:00	手術		○	○		○		
17:00~18:30	教育カンファレンス	○						
17:00~7:30	当直（平日 1／週、土日 1／月）				○		○	○

高知大学医学部附属病院　産婦人科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～9:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00～13:30	外来（初診・再診）	○	○	○	○	○		

13:30～16:00	外来（再診）		○		○			
8:30～17:00	手術			○		○		
13:30～15:00	回診	○						
16:00～19:30	臨床カンファレンス	○						
17:00～18:00	グループカンファレンス及び病棟業務		○	○		○		
18:00～19:00	周産期カンファレンス		○					
17:00～18:30	カルテレビュー及び病棟業務				○			
8:30～17:15	日直業務						○	○
17:15～8:15	当直業務	○	○	○	○	○	○	○

高知大学医学部附属病院　精神科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
14:00~17:00	病棟業務	○	○		○	○		
9:00~13:00	初診外来	○	○		○	○		
9:00~13:00	再来外来	○	○		○	○		
9:00~12:00	入退院カンファレンス			○				
16:00~17:00	クルズス			○				
13:30~14:30	多種職カンファレンス			○				
19:00~20:00	緩和ケア・カンファレンス				○			
14:00~17:00	認知症専門外来	○						

高知大学医学部附属病院　皮膚科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～9:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00～12:30	初診外来	○		○		○		
9:00～12:30	再診外来		○		○			
13:00～17:00	手術	○	○	○		○		
14:00～17:00	病棟業務	○	○	○		○		
14:30～19:30	教育カンファレンス				○			
16:00～17:00	イブニングカンファレンス	○						

高知大学医学部附属病院　眼科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
7:00～9:00	病棟回診	○	○	○	○	○	○	
8:00～9:00	症例カンファレンス・病棟回診			○	○			
9:00～12:00	外来		○	○	○			
12:00～17:00	外来		○	○	○			

9:00～12:00	専門外来					○		
12:00～17:00	専門外来		○			○		
9:00～12:00	特殊検査	○				○		
9:00～17:00	手術	○				○		
18:00～19:00	研究カンファレンス			○				

高知大学医学部附属病院　耳鼻咽喉科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30～13:00	外来業務	○		○		○		
14:00～17:00	嗅覚障害専門外来			○				
14:00～17:00	補聴器専門外来					○		
14:00～17:00	音声障害専門外来					○		
14:00～17:00	睡眠時無呼吸専門外来					○		
15:00～16:00	入院患者・手術患者カンファレンス	○						
16:00～17:30	病棟回診	○						
18:30～19:00	放射線治療カンファレンス	○						
17:30～18:00	嚥下障害患者カンファレンス					○		
8:00～8:30	モーニング抄読会				○			
18:00～19:00	医局会		○					
19:30～21:00	音声・言語・嚥下に関する多職種勉強会（1 回/月）		○					
17:00~8:00	当直（平日 1 回/週、土日 1～2 回/月）	○		○		○	○	○

高知大学医学部附属病院　総合診療・漢方外来（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	外来診療（初診・漢方）	○	○	○	○	○		
13:00～17:00	外来診療（再来・禁煙）	○	○	○	○	○		
17:00～19:00	カンファレンス			○		○		

高知大学医学部附属病院　形成外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		
8:30～12:00	病棟業務	○		○		○		
8:30～12:00	手術	○						
8:30～12:00	初診・再診外来		○		○			
13:00～17:00	病棟業務		○		○			

13:00～17:00	手術	○				○		
18:00～19:00	抄読会・勉強会	○						
8:30～9:30	手術カンファレンス		○					
17:30～8:30	当直（平日 2/月、土日１～2/月）		○		○		○	○
13:00～	他療科合同再建手術（不定期）		○		○			

県立あき総合病院　内科（総合診療専門研修Ⅱ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		
8:30～12:00	病棟業務	○		○	○			
8:30～12:00	初診外来		○			○		
13:00～16:30	再来外来		○			○		
13:00～16:30	救急当番	○						
13:00～16:30	病棟業務			○	○			
16:30～17:15	カルテレビュー	○	○	○	○	○		
16:30～17:15	教育カンファレンス				○			
17:15～8:30	当直（平日１／週、土日１～２／月）			○			○	○

県立あき総合病院　内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		
8:30～12:00	病棟業務	○		○	○			
8:30～12:00	初診外来		○			○		
13:00～16:30	再来外来		○			○		
13:00～16:30	救急当番	○						
13:00～16:30	病棟業務			○	○			
16:30～17:15	カルテレビュー	○	○	○	○	○		
16:30～17:15	教育カンファレンス				○			
17:15～8:30	当直（平日１／週、土日１～２／月）			○			○	○

県立あき総合病院　小児科（小児科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		
8:30～9:00	病棟回診･処置（入院児･新生児）	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	一般外来 or 発達外来	○	○	○	○	○		
14:30～17:15	一般外来 or 発達外来	○		○		○		

14:30～17:15	院内乳児検診 or 市町村乳児検診		○					
14:30～17:15	予防接種外来				○			

県立あき総合病院　外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		
8:30～12:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30～12:00	検査（内視鏡・放射線）		○		○			
9:00～13:00	外来	○	○	○	○	○		
13:00～	手術	○	○	○	○	○		
18:30～	画像症例検討会（第 3 週）					○		

県立あき総合病院　整形外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来・病棟	○	○	○		○		
8:30～12:00	手術				○			
13:00～17:15	手術・病棟	○	○	○	○	○		

県立あき総合病院　産婦人科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来・病棟	○	○	○	○	○		
13:00～17:15	外来・病棟	○				○		
13:00～17:15	外来・特殊検査		○					
13:00～17:15	手術・病棟			○				
13:00～17:15	病棟・特殊検査				○			

県立あき総合病院　脳神経外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	オリエンテーション・外来補助	○						
8:30～12:00	外来補助			○				
8:30～12:00	病棟回診		○		○	○		
13:00～17:15	病棟回診	○		○				
13:00～17:15	Case カンファレンス		○					
13:00～17:15	DSA				○			
13:00～17:15	手術					○		
17:15～8:30	副当直（平日 1／週）		○					

県立あき総合病院　精神科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	新患予診、見学	○		○	○	○		
9:00～12:00	デイケア		○					
13:00～17:15	病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30～17:15	院外研修（随時）		○					
16:30～	症例検討会	○						
16:45～	他職種ミーティング				○			
17:15～	院外勉強会参加					○		
17:15～	保健所連絡会（1 回/月）							

県立あき総合病院　皮膚科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来・処置	○	○		○	○		
8:30～12:00	手術			○				
13:00～17:15	病棟回診、外科的処置など	○	○			○		
13:00～17:15	外来・処置			○				
13:00～17:15	院外往診、褥瘡回診				○			

県立あき総合病院　眼科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来	○	○	○	○	○		
13:00～17:15	外来	○		○	○	○		
13:00～17:15	手術		○					

県立あき総合病院　耳鼻咽喉科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来診察	○		○	○	○		
8:30～12:00	手術		○					
13:00～17:15	頚部超音波検査	○						
13:00～17:15	嚥下内視鏡・補聴器外来		○					
13:00～17:15	手術				○			
13:00～17:15	外来診察・病棟診察			○		○		
夕方	病棟業務	○				○		

県立あき総合病院　泌尿器科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日

8:30～12:00	1 週間のオリエンテーション	○						
8:30～12:00	外来（検査）	○	○	○		○		
8:30～12:00	病棟			○				
8:30～12:00	透析		○		○	○		
13:00～17:15	外来	○	○		○	○		
13:00～17:15	病棟	○	○	○		○		
13:00～17:15	透析	○		○	○			
13:00～17:15	手術		○					
13:00～17:15	入院患者カンファレンス			○				

県立幡多けんみん病院　内科（総合診療専門研修Ⅱ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:15～9:00	モーニングカンファレンス		○					
9:00～12:00	病棟業務	○		○	○			
9:00～12:00	予約外来		○					
9:00～12:00	予約外外来				○			
9:00～12:00	発熱外来					○		
9:00～17:00	救急当番	○		○				
12:30～13:00	退院患者カンファレンス					○		
13:00～16:30	予約外来		○					
14:00～15:30	多職種カンファレンス					○		
17:00～8:00	当直（平日 1／2 週、土日 2 回／月）		○				○	○
8:30～17:15	大月病院研修（週 1 回程度）				○			
8:30～17:15	鵜来島診療所研修（月 1 回程度）					○		

県立幡多けんみん病院　内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:15～9:00	モーニングカンファレンス		○					
9:00～12:00	病棟業務	○		○	○			
9:00～12:00	予約外来		○					
9:00～12:00	予約外外来				○			
9:00～12:00	発熱外来					○		
9:00～17:00	救急当番	○		○				
12:30～13:00	退院患者カンファレンス					○		
13:00～16:30	予約外来		○					
14:00～15:30	多職種カンファレンス					○		

17:00～8:00	当直（平日 1／2 週、土日 2 回／月）		○				○	○

県立幡多けんみん病院　消化器内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	消化器内視鏡（上部）	○	○		○	○		
9:00～12:00	腹部エコー			○				
13:00～17:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
13:00～17:00	消化器内視鏡（下部）	○	○	○	○	○		
14:00～15:00	高知大学第一内科教授回診					隔週		
17:00～20:00	病棟カンファレンス 術前カンファレンス			○				
8:30～17:00	救急当番（オンコール）	○	○	○	○	○		
17:15～8:30	当直（平日月 3 回程度）							

県立幡多けんみん病院　循環器内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～	心エコー検査	○				○		
8:30～	心臓カテーテル検査		○		○			
8:30～	心臓核医学検査			○				
8:30～	病棟研修	○	○	○				
8:30～	外来研修				○	○		
13:00～	ペースメーカー植え込み手術			○		○		
13:00～	運動負荷検査		○					
13:00～	ホルター心電図解析					○		
13:00～	病棟研修	○	○	○	○	○		
18:00～	心カテ検討会	○			○			
18:00～	症例検討会／勉強会		○					
18:00～	病棟カンファレンス			○				

県立幡多けんみん病院　小児科（小児科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:40～9:00	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	病棟研修	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	外来研修	○	○	○	○	○		
10:00～10:30	病棟回診			○				
14:00～16:00	午後外来・予防接種	○	○	○	○	○		

18:00～22:00	救急当番　※曜日は要相談			○			○	
17:15～18:30	病棟カンファレンス				○			
17:15～18:00	周産期カンファレンス				○			

県立幡多けんみん病院　外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	術前カンファレンス					○		
8:30～9:00	カンファレンス	○	○	○	○			
8:30～9:00	病棟カンファレンス					○		
9:00～17:00	病棟研修・手術研修	○	○	○	○	○		
13:00～	手術	○	○	○	○	○		
18:00～	消化器カンファレンス			○				

県立幡多けんみん病院　整形外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～9:00	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00～10:00	AST カンファレンス		○					
10:00～13:00	外来	○			○			
10:00～13:00	手術		○	○		○		
13:00～17:00	手術	○	○	○	○	○		
17:00～8:30	日当直（月 3～4 回）				○		○	○

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　総合診療科（総合診療専門研修Ⅱ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～9:00	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	外来	○		○		○		
8:30～12:00	エコー				○			
13:00～17:30	病棟回診	○	○	○	○	○		
13:00～17:30	外来		○			○		
17:30～	総合診療科カンファレンス・振り返り	○	○	○	○	○		

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　消化器内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	上部消化管内視鏡検査・胃瘻造設・救急疾患対応・外来診察	○	○	○	○	○		
13:00～17:30	大腸内視鏡検査・ERCP、EUS(+FNA)・内	○	○	○	○	○		

	視鏡治療(ESD、EMR、etc.)・小腸内視鏡・PTCD、PPTGBD・RFA,救急疾患対応・病棟回診							
17:30～	消化器症例検討会					○		

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　糖尿病・内分泌科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来	○	○		○	○		
8:30～12:00	病棟			○				
13:00～17:30	病棟	○	○	○	○	○		

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　腎臓内科・膠原病科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	病棟回診・透析回診・外来	○			○	○		
8:30～12:00	病棟回診・透析回診		○	○				
13:00～17:30	外来・回診	○						
13:00～17:30	回診		○		○			
13:00～17:30	腎生検・回診			○				
13:00～17:30	回診・病棟カンファレンス・透析カンファレンス					○		

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　呼吸器内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	病棟		○	○	○	○		
9:00～12:00	オリエンテーション・病棟	○						
12:45～14:00	病棟多職種合同カンファレンス			○				
13:00～17:30	病棟		○	○		○		
13:00～	気管支鏡				○			
16:00	呼吸器内科・外科合同カンファレンス・説明会(薬)	○						
16:00～	入院患者カンファレンス					○		

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　血液内科・輸血科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	カンファレンス	○						
8:30～12:00	外来・病棟管理		○	○	○			
8:30～12:00	抄読会					○		

13:00～17:30	回診	○			○	○		
13:00～17:30	カンファレンス		○					
14:00～17:30	総回診・病棟カンファレンス			○				

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　循環器内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
7:30～8:00	緊急入院・病棟カンファレンス	○						
8:00～12:00	カンファレンス			○	○	○		
8:00～12:00	回診・心カテ	○	○		○	○		
8:00～12:00	心筋シンチ			○				
13:00～17:00	心カテ・経食道心エコー	○						
13:00～17:00	回診・心カテ・心リハ		○		○			
13:00～17:00	回診・心カテ(デバイス手術)			○				
13:00～17:00	心カテ(TAVI)・デバイス外来					○		
17:00～	ハートチームカンファレンス	○						
17:00～	循環器カンファレンス		○	○	○	○		
17:30～	循環器カンファレンス	○						

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　小児科（小児科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	抄読会					○		
8:30～12:00	病棟回診後、外来にて採血・処置等	○	○	○		○		
8:30～12:00	病棟回診後、小児外科手術助手				○			
12:00～	カンファレンス	○						
13:00～17:30	予防接種補助	○		○		○		
13:00～17:30	乳児検診補助		○					
20:00～	小児輪番日に救急外来診察			○				

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　救命救急科（救急研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:15～9:00	ER・入院症例・カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00～10:00	ICU・HCU 回診	○	○	○	○	○		
10:00～11:00	ドクターヘリ or 救急外来 or 病棟（ICU・HCU・一般）研修	○	○	○	○	○		
13:00～17:30	ドクターヘリ or 救急外来 or 病棟（ICU・HCU・一般）研修	○	○	○	○	○		
17:30～	症例検討会（第４週）	○						

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
7:30～8:30	食道 G カンファレンス、LAG 勉強会		○					
7:30～8:30	抄読会、外科連絡会				○			
8:30～12:00	手術	○	○	○	○	○		
13:00～17:30	手術	○	○	○	○	○		
17:30～	消化管カンファレンス	○						
17:30～	肝胆膵カンファレンス				○			

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　整形外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	症例検討・手術・外来	○	○	○	○	○		
13:00～17:30	手術・専門外来	○				○		
13:00～17:30	脊髄造影検査・手術		○	○	○			

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　産科・婦人科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来	○			カンファレンス	○		
8:30～12:00	回診・病棟		○		○			
8:30～12:00	手術			○				
13:00～17:15	手術	○	○	○	○	○		
17:30～	周産期症例検討会（月 2 回）	○						

カンファレンスは毎週木曜日　9:00 から

9:00～9:30　「抄読会」か「手術ビデオカンファレンス」　9:30～　術前症例カンファレンス

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　精神科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来陪席	○	○	○	○	○		
8:30～12:00	病棟申送り、専門医相談		○		○			
12:00～13:00	外来カンファレンス				○			
13:00～17:30	外来陪席・病棟業務	○		○	○	○		
13:00～17:30	病棟多職種カンファレンス・病棟業務			○				

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　児童精神科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来陪席	○	○		○	○		

8:30～12:00	病棟申送り、児童相談所の専門医相談			○				
12:00～13:00	外来カンファレンス			○				
13:00～17:30	外来陪席・病棟業務	○	○		○	○		
13:00～17:30	病棟多職種カンファレンス・病棟業務			○				

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　皮膚科（その他の領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来	○	○	○	○	○		
13:00～17:30	病棟回診・往診・手術・検査	○	○	○	○	○		

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　眼科（その他の領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	病棟(診察)・外来(診察見学・問診・診察)	○	○	○	○	○		
13:00～17:30	外来検査･治療(術前検査･レーザー治療見学)・入院患者の術前検査	○		○				
13:00～17:30	手術（消毒・洗眼処置・手術助手・執刀）		○		○	○		
17:30～	週間予定確認	○						
17:30～	症例カンファレンス･手術カンファレンス				○			
17:30～	まとめ					○		

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　耳鼻咽喉科（その他領域別）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	病棟			○		○		
8:30～12:00	手術		○		○			
8:30～12:00	外来	○						
13:00～17:30	外来	○		○		○		
13:00～17:30	手術		○		○			

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　放射線科･放射線療法科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	IVR	○	○					
8:30～12:00	超音波			○				
8:30～12:00	抄読会・IVR				○			
8:30～12:00	CT・MRI・RI					○		
13:00～17:30	CT・MRI	○	○	○	○	○		
17:30～	カンファレンス				○			

社会医療法人近森会近森病院　総合診療科（総合診療専門研修Ⅱ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～9:00	抄読会・カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	初診外来	○	○	○	○	○		
13:00～17:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
17:00～18:00	カンファレンス	○	○	○	○	○		
17:00～8:30	当直（平日 1/週）、土日 1/月）							

社会医療法人近森会近森病院　内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～9:00	抄読会・カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	初診外来	○						
9:00～12:00	病棟業務・各種検査		○	○	○	○		
13:00～17:00	初診外来			○	○			
13:00～17:00	病棟業務	○	○	○		○		
17:00～18:00	カンファレンス・勉強会	○	○	○	○	○		
17:00～8:30	当直（平日 1/週）、土日 1/月）							

社会医療法人近森会近森病院　救急科（救急研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:15～8:45	カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	ER 外来	○	○	○	○	○		
13:00～17:00	ER 外来	○	○	○	○	○		
17:00～18:00	カンファレンス・勉強会	○	○	○	○	○		
17:00～8:30	当直（平日 1/週）、土日 1/月）							

社会医療法人近森会近森病院　整形外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～9:00	カンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	手術・ER 外来	○	○		○	○		
9:00～12:00	リハビリ研修			○				
13:00～17:00	手術・ER 外来	○	○	○		○		
13:00～17:00	回診				○			
17:00～18:00	カンファレンス・勉強会	○	○	○	○	○		
17:00～8:30	当直（平日 1/週）、土日 1/月）							

日本赤十字社高知県支部高知赤十字病院　内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:10	病棟回診	○	○	○	○	○		
8:30~12:10	キャンサーボード		○					
8:30~12:10	EGD／EUS	○			○	○		
8:30~12:10	エコー		○	○				
13:00~17:05	病棟回診	○	○	○	○	○		
13:00~17:05	総回診	○						
13:00~17:05	症例検討／カンファレンス	○		○				

日本赤十字社高知県支部高知赤十字病院　救急部（救急研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	カンファレンス	○	○	○	○	○	○	○
8:30～16:35	救命救急センター外来 救命救急センター病棟（ICU）	○	○	○	○	○	○	○
17:05～	当直（月 5 回程度）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　内科（総合診療研修Ⅱ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~9:00	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00~12:00	病棟業務		○		○	○		
9:00~12:00	内科総合外来	○						
9:00~12:00	救急搬送対応			○				
13:00~16:00	救急外来		○					
13:00~16:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
13:00~14:00	多職種カンファレンス			○				
13:00~14:00	振り返りカンファレンス					○		
16:00~17:00	症例カンファレンス	○	○	○	○	○		
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　消化器内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	内視鏡検査（上部）	○	○		○	○		
9:00~12:00	午前救急当番				○			
9:00~12:00	腹部超音波検査・その他			○				

13:00~15:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
13:00~17:00	午後救急当番（下部、その他）			○				
14:00~17:00	内視鏡検査（下部、その他）	○	○		○			
18:00~19:00	カンファレンス				○			
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　リウマチ科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~13:00	リウマチ科外来	○	○			○		
14:00~16:00	リウマチ科外来	○	○		○	○		
8:30~13:00	病棟業務				○			
16:00~17:15	病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30~13:00	腎臓・糖尿病外来			○				
14:00~16:00	腎臓・糖尿病外来			○				
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　呼吸器内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00~8:30	抄読会	○						
8:30~12:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
10:00~12:00	気道過敏性試験			○				
8:30~12:00	呼吸器内科外来	○		○				
8:30~12:00	午前救急当番		○		○			
13:00~17:15	病棟業務	○	○	○	○	○		
13:30~15:00	病院長回診			○				
14:00~16:30	気管支鏡検査	○				○		
15:00~16:00	カンファレンス			○				
13:00~17:15	午後救急当番					○		
16:00~18:00	カンファレンス				○			
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　内科〔血液・感染症〕（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	病棟業務	○	○	○	○	○		

9:00~12:15	内科外来		○		○			
9:00~10:00	外来化学療法	○		○		○		
12:00~13:00	外来化学療法	○	(○)	○	(○)	○		
13:30~14:30	リンクナース会（1/月）			○		○		
13:30~15:00	ICT 活動			○				
11:00~12:00	処置・標本鏡検	○	○	(○)	○	○		
13:00~16:00	処置・標本鏡検	○	○	(○)	○	○		
16:00~18:00	カンファレンス				○			
13:00~17:15	午後救急当番（隔週）	○						
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　循環器内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	循環器内科外来	○			○			
8:30~12:00	検査（心臓超音波等）		○	○		○		
13:30~15:00	循環器内科外来	○			○			
14:00~16:00	検査（心臓カテーテル）		○					
14:00~16:00	ペースメーカー外来（月 1 回）				○			
13:00~17:15	午後救急当番（隔週）					○		
13:00~17:15	病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　小児科（小児科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	循環器内科外来	○			○			
8:30~12:00	検査（心臓超音波等）		○	○		○		
13:30~15:00	循環器内科外来	○			○			
14:00~16:00	検査（心臓カテーテル）		○					
14:00~16:00	ペースメーカー外来（月 1 回）				○			
13:00~17:15	午後救急当番（隔週）					○		
13:00~17:15	病棟業務	○	○	○	○	○		
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　外科･呼吸器外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00~8:30	術前カンファレンス・症例検討			○				
9:00~17:15	手術	○	○	○	○	○		
9:00~17:15	病棟業務及び検査	○	○	○	○	○		
16:00~17:00	カンファレンス				○			
17:15~17:45	勉強会				○			
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　整形外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00~8:30	カンファレンス	○						
9:00~14:00	病棟全体回診	○			○	○		
9:00~15:00	外来業務	○		○	○	○		
9:00~15:00	手術		○	○	○	○		
15:00~17:15	病棟業務	○	○	○	○	○		
15:00~17:15	救急当番	○	○	○	○	○		
17:00~17:30	リハビリカンファレンス				○			
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　産婦人科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:30	外来診療 / 病棟業務	○	○	○	○	○		
13:30~17:00	手術		○		○			
13:30~17:00	救急当番	○		○		○		
16:00~17:00	周産期カンファレンス	○						
16:00~17:00	臨床カンファレンス			○				
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　皮膚科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~13:00	外来業務	○	○	○	○	○		
14:00~17:15	病棟業務 / 検査	○	○	○	○	○		
13:00~15:30	手術			○				

8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　眼科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
9:00~16:00	外来診察	○	○	○	○	○		
9:00~13:00	初診外来		○	○	○			
9:00~12:00	再診外来					○		
午後	病棟業務			○	○			
午後	手術			○				
午後	検査	○	○		○	○		
16:30~17:00	眼科救急疾患等の学習	○			○			
16:30~17:00	教育カンファレンス		○					
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　耳鼻咽喉科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	外来診療	○	○	○	○	○		
13:00~17:15	手術	○		○		○		
13:00~17:15	外来検査・外来小手術		○		○			
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

独立行政法人国立病院機構高知病院　泌尿器科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00~9:00	血液透析	○	○	○	○	○	○	
9:00~12:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
13:00~17:15	外来業務（病棟業務終了後）	○	○	○	○	○		
13:00~14:00	血液透析	○		○		○		
14:00~16:30	外来・検査		○	○				
13:00~17:00	手術	○			○	○		
8:30~17:15	週末（土・日）日直（1~2/月）							
17:15~8:30	平日及び週末当直（1~2/月）							

社会医療法人仁生会細木病院　総合診療科（総合診療専門研修Ⅱ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
7:30～8:30	総合回診			○				
8:30～12:00	午前外来			○		○		
8:30～12:00	病棟業務	○	○		○			
13:30～17:30	午後外来	○	○	○	○			
13:30～17:30	病棟業務					○		
8:30～17:30	救急対応（コール制）	○	○	○	○	○		
17:30～18:30	教育カンファレンス	○		○				
17:30～8:30	当直（平日 1/週）、土日 1~2/月）				○		○	○

社会医療法人仁生会細木病院　内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	病棟業務	○		○	○	○		
8:30～12:00	午前外来		○					
8:30～12:00	救急当番	○						
13:30～17:30	病棟業務	○	○	○				
13:30～17:30	午後外来				○	○		
13:30～17:30	救急当番			○				
17:30～18:30	教育カンファレンス	○		○				
17:30～8:30	当直（平日 1/週）、土日 1~2/月）				○		○	○

社会医療法人仁生会細木病院　小児科（小児科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	病棟業務	○		○	○			
8:30～12:00	午前外来		○			○	○	
13:30～17:30	病棟業務		○			○		
13:30～17:30	午後外来	○		○	○			
13:30～17:30	予防接種			○				
17:30～18:30	教育カンファレンス	○						

社会医療法人仁生会細木病院　整形外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	手術・病棟業務	○	○		○	○		
8:30～12:00	午前外来			○				
8:30～12:00	救急当番				○			
13:30～17:30	手術・病棟業務			○	○	○		

13:30～17:30	午後外来	○	○					
13:30～17:30	救急当番					○		
17:30～18:30	教育カンファレンス	○						
17:30～8:30	当直（平日 1/週）、土日 1~2/月）				○		○	○

いずみの病院　内科（総合診療専門研修Ⅱ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~9:00	モーニングカンファレンス	○		○		○		
9:00~12:00	病棟業務	○		○		○		
9:00~12:00	初診外来		○		○			
13:00~16:30	救急当番	○				○		
13:00~16:30	病棟業務		○		○			
16:30~17:00	カルテレビュー	○		○		○		
16:30~17:00	カンフェレンス		○		○			
17:00~8:00	当直（平日 1/週）土日（1～2/月）						○	○

JA 高知病院　内科（総合診療専門研修Ⅱ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来業務	○		○		○		
8:30～12:00	病棟業務		○					
8:30～12:00	健診センター業務				○			
13:00～16:30	病棟業務	○			○			
13:00～16:30	救急対応					○		
13:00～16:30	介護老人保健施設		○					
13:00～14:00	退院調整（地域連携）カンファレンス			○				
16:30～17:00	教育カンファレンス	○	○	○	○	○		
17:00～ 8:00	当直（平日 1/週、土日 1～2/月）						○	○

JA 高知病院　内科（内科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来業務	○	○	○	○	○		
13:00～16:30	病棟業務	○	○	○	○	○		
16:30～17:00	教育カンファレンス	○	○	○	○	○		
17:00～8:00	当直（平日 1/週、土日 1～2/月）						○	○

JA 高知病院　小児科（小児科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	病棟業務		○			○		
13:00～16:30	病棟業務	○		○	○			
8:30～12:00	外来業務（土　2 回/月）	○		○	○		○	
13:30～17:00	外来業務	○	○			○		
16:30～17:00	教育カンファレンス		○					
17:00～ 8:00	当直（　1　/月　曜日未定）							

JA 高知病院　外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来業務	○	○			○		
13:00～17:00	手術			○		○		
13:00～17:00	病棟業務			○		○		
16:30～17:00	教育カンファレンス					○		
17:00～8:00	当直（平日 1/週、土日 1～2/月）				○		○	○

JA 高知病院　産婦人科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	病棟業務	○			○			
8:30～12:00	外来業務		○	○		○		
13:00～17:00	手術	○	○			○		
13:00～17:00	病棟業務	○			○			
17:00～8:00	当直（平日 1/週、土日 1～2/月）	○			○		○	○

JA 高知病院　耳鼻咽喉科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来業務	○	○	○	○	○		
14:00～17:00	外来業務				○			
13:00～17:00	手術	○				○		
16:30～17:00	教育カンファレンス	○			○			
17:00～8:00	当直（平日 1/週、土日 1～2/月）				○		○	○

土佐市立土佐市民病院　内科（総合診療専門研修Ⅱ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:20～8:30	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		

8:30～12:00	初再診外来	○	○		○			
13:00～17:15	初再診外来	○		○		○		
8:30～12:00	病棟回診業務					○		
13:00～17:15	病棟回診業務		○					
13:00～15:00	検診業務				○			
15:00～17:00	特別養護老人ホーム回診				○			
9:30～11:30	地域医療カンファレンス（月１回程度・火曜）							
8:30～13:00	救急対応			○				

土佐市立土佐市民病院　外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	初再診外来		○		○	○		
8:30～12:00	病棟回診業務	○		○				
13:00～17:15	初再診外来	○		○				
13:00～17:15	病棟回診業務		○		○			
13:00～	手術又は病棟回診業務			○		○		

土佐市立土佐市民病院　整形外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	初再診外来研修	○	○	○	○	○		
13:00～17:15	初再診外来研修		○	○	○	○		
16:00～16:15	リハビリカンファレンス				○			
13:00～17:15	手術	○	○					

土佐市立土佐市民病院　泌尿器科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	初再診外来見学		○		○			
8:30～12:00	透析外来見学	○		○		○		
13:00～17:15	透析外来見学					○		
13:00～17:15	病棟回診業務	○		○	○			
13:00～	手術				○			

土佐市立土佐市民病院　麻酔科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	術前、術後訪問	○	○		○	○		
13:00～	手術	○	○		○	○		

手術終了後より	術後訪問、翌日の術前訪問	○	○		○	○		

高知医療生活協同組合高知生協病院　総合診療科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	病棟回診（指導医とのラウンド）	○				○		
8:00～8:30	在宅療養センタースタッフ、院内各部署との打ち合わせ		○	○	○			
8:00～8:40	抄読会　1/月					○		
8:40～8:50	医局朝礼	○	○		○	○		
9:00～12:30	初診外来	○				○		
9:00～12:30	訪問診療		○		○			
13:30～16:30	思春期外来		○					
13:30～16:30	再来外来				○			
13:30～16:30	救急当番	○						
13:30～14:00	退院支援病診連携の会 1/月					○		
13:30～16:30	病棟業務					○		
13:30～16:30	訪問診療			○				
13:30～15:00	地域包括ケア研修（医療生協地域健康班会での健康講座）1/3 か月			○				
13:45～15:00	総合診療カンファレンス（受け持ち患者のプレゼン、臨床推論トレーニング）				○			
16:30～17::00	外来カルテレビュー	○		○		○		
16:30～17:00	訪問診療振り返り		○		○			
17:00～17:30	１週間の振り返り					○		
17:00～19:00	Case-based Discussion 1/3 か月	○						
17:00～9:00	当直（平日１/週、土日 1/月）				○		○	○
17:00～18:00	医局会議			○				

高知医療生活協同組合高知生協病院　総合診療科（総合診療専門研修Ⅱ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	病棟回診（指導医とのラウンド）	○	○	○	○	○		
8:00～8:40	抄読会　1/月					○		
8:40～8:50	医局朝礼	○	○	○	○	○		
9:00～12:30	初診外来	○				○		
9:00～12:30	訪問診療			○				
9:00～12:30	病棟業務		○		○			

13:30～16:30	訪問診療		○					
13:30～16:30	再来外来				○			
13:30～16:30	病棟業務			○				
13:30～16:30	救急当番	○						
13:30～16:30	整形外科３か月　外科３か月					○		
13:30～14:30	退院支援病診連携の会 1/月					○		
13:30～15:00	地域包括ケア研修（医療生協地域健康班会での健康講座）1/3 か月			○				
13:45～15:00	総合診療カンファレンス（受け持ち患者のプレゼン、臨床推論トレーニング）				○			
16:30～17:00	外来カルテレビュー	○				○		
16:30～17:00	訪問診療振り返り		○	○				
17:00～17:30	１週間の振り返り					○		
17:00～19:00	Case-based Discussion 1/3 か月	○						
17:00～9:00	当直（平日１/週、土日 1/月）				○		○	○
17:00～18:00	医局会議			○				

高知医療生活協同組合高知生協病院　外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	病棟回診（指導医とのラウンド）	○	○	○	○	○		
8:00～8:40	抄読会　1/月					○		
8:40～8:50	医局朝礼	○	○	○	○	○		
9:00～12:30	外来研修	○		○				
9:00～12:30	乳癌検診		○			○		
13:30～17:00	手術		○			○		
13:30～14:00	術前カンファレンス	○			○			
17:00～17:30	１週間の振り返り	○						
17:00～9:00	当直（平日１/週、土日 1/月）		○				○	○
17:00～18:00	医局会議			○				

高知医療生活協同組合高知生協病院　整形外科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:40～8:50	医局朝礼	○	○	○	○	○		
9:00～12:30	外来研修			○		○		
13:30～14:30	病棟カンファレンス		○		○			
13:30～17:00	手術			○				
13:30～17:00	外来研修		○					

14:30～17:00	手術				○			
14:00～17:00	総回診					○		
17:00～17:30	１週間の振り返り					○		
17:00～9:00	当直（平日１/週、土日 1/月）				○		○	○
17:00～18:00	医局会議			○				

高知医療生活協同組合高知生協病院　在宅医療科（その他領域別研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	在宅療養センタースタッフ、院内各部署との打ち合わせ	○	○	○	○	○		
8:40～8:50	医局朝礼	○	○	○	○	○		
9:00～12:30	訪問診療		○	○	○			
13:30～17:00	訪問診療	○	○	○	○	○		
13:30～14:30	在宅カンファレンス	○						
13:30～14:30	退院支援病診連携の会 1-2/月					○		
17:00～17:30	１週間の振り返り					○		
17:00～9:00	時間外往診　随時出動							
17:00～18:00	医局会議			○				

医療法人臼井会田野病院　総合診療科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～9:00	モーニングカンファレンス	○		○		○		
9:00~12:00	病棟業務	○		○				
9:00~12:00	初診外来		○			○		
14:00~17:00	再来外来			○				
13:00~16:30	救急当番	○						
16:30~17:00	カルテレビュー		○	○	○	○		
16:30~17:00	教育カンファレンス	○						
17:00~8:00	当直（平日 1/週）、土日 1~2/月）	○				○	○	○
14:00~16:30	認知症.初診外来	○						
9:00~12:00	認知症.再来外来			○				
14:00~17:00	訪問診療		○		○			
9:00~12:00	小児科外来				○			

医療法人臼井会田野病院　小児科（小児科研修）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日

8:30～9:00	モーニングカンファレンス	○		○		○		
9:00~12:00	病棟業務	○		○				
9:00~12:00	初診外来		○			○		
14:00~17:00	再来外来（予防接種含む）				○			
13:00~16:30	救急当番	○						
16:30~17:00	カルテレビュー		○	○	○	○		
16:30~17:00	教育カンファレンス	○						
17:00~8:00	当直（平日 1/週）、土日 1~2/月）	○				○	○	○
13:00~15:00	乳児健診（中芸・室戸）		○	○				
13:00~15:00	リハビリ外来（発達障害対象）	○			○			

医療法人公世会野市中央病院　総合診療科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30-9:00	病棟ラウンド	○	○	○	○	○		
9:00-13:00	総合診療科外来	○		○		○		
9:00-13:00	小児科外来				○			
9:00-13:00	検査(内視鏡、エコーなど)		○					
9:00-18:00	病棟業務(適宜)	○	○	○	○	○		
13:30-14:00	合同カンファレンス、症例検討	○						
14:00-17:30	総合診療科外来			○	○	○		
14:00-17:30	訪問診療	○	○					
15:00-16:00	特別養護老人ホーム回診					○		
17:30-18:00	1 日の振り返り	○	○	○	○	○		
9:00-18:00	救急当番	○	○	○	○	○		
18:00-9:00	当直(週 1 回)			○				
9:00-18:00	日直(月 1 回)							○

※土曜も通常診療をしているため日曜以外の公休日は相談に応じます。(上記は土日休みと仮定)

本山町立国民健康保険嶺北中央病院　内科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	病棟カンファレンス					○		
8:30～12:15	検査			○				
8:30～12:15	外来		○		○			
8:30～12:15	診療所					○		
13:15～17:15	病棟・救急当番			○		○		

13:15～17:15	小児科研修			○				
13:15～17:15	訪問診療、検診、施設		○		○			
13:15～17:15	外来	○				○		
17:15～19:00	教育カンファレンス		○					
19:00～19:30	抄読会		○					
17:15～8:30	当直（平日３回/月、休日 1～2 回/月）			○			○	○

独立行政法人地域医療機能推進機構高知西病院　内科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
13:00～17:15	一般外来	○						
9:00～12:00	初診外来			○				
9:00～12:00	一般外来（消化器）		○					
13:00～16:30	訪問診療、校医（不定期）			○	○			
9:00～12:00	病棟業務	○			○			
13:00～17:15	病棟業務		○			○		
14:00～16:30	内科回診				○			
8:30～12:00	健診業務					○		
7:30～8:30	勉強会（不定期）			○	○			
17:15～8:30	当直				○		○	○
10:00～11:00	透析回診				○			
14:00～17:30	小児科研修（不定期）			○				

いの町立国民健康保険仁淀病院　総合診療科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	総合診療科外来業務（初診）	○		○	○			
8:30~12:00	総合診療科外来業務（再診）		○			○		
8:30~11:00	小児科外来	○						
13:30~16:30	病棟業務	○		○		○		
13:00~16:30	救急当番	○		○				
13:30~14:30	NST 回診			○				
13:00~16:00	訪問診療				○			
16:30~17:00	放射線読影会			○				
13:00~13:30	退院支援カンファレンス		○			○		
16:30~17:00	症例検討会				○			
16:30~17:00	合同カンファレンス	○						
17:00~8:30	当直（平日 1/週、土日 1-2/月）			○			○	○

佐川町立高北国民健康保険病院　内科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	内科外来	○		○				
8:30～12:00	小児科外来					○		
8:30～12:00	検査（内視鏡、腹部エコー）		○		○			
8:30～12:00	病棟業務		○					
13:30～17:00	内科外来		○		○			
13:30～17:00	病棟業務			○		○		
13:30～14:00	退院支援カンファレンス					○		
13:30～16:00	診療所				○			
13:30～16:00	訪問診療			○				
14:00～16:00	特養回診	○						
15:00～16:00	透析回診					○		
16:30～17:00	内科カンファレンス		○					

梼原町立国民健康保険梼原病院　内科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～8:40	朝ミーティング	○	○	○	○	○		
8:40～12:00	外来診察	○	○					
8:40～12:00	病棟業務			○	○			
8:40～12:00	検査・処置・救急当番			○	○			
13:30～17:00	外来診察					○		
13:30～17:00	小児科外来/振動病診察(隔週)	○						
13:30～17:00	病棟業務(水曜日は回診・会議)			○	○			
13:30～17:00	訪問診療/特老診察		○					
15:00～16:00	レントゲンカンファレンス			○				
日勤帯適宜	各種委員会			○				
17:00～翌 8:00	平日当直(5～6 回/月)	○			○			
8:30～翌 8:30	土日当直(月 2～3 回)						○	○

医療法人五月会須崎くろしお病院　外科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～9:00	カンファレンス	○						
9:00～12:00	初診外来	○			○			
9:00～12:00	再診外来		○	○				

13:00～16:30	病棟業務			○		○		
13:00～16:30	救急当番				○			
13:00～16:30	訪問診療					○		
16:30～17:00	カルテレビュー		○	○		○		
16:30～17:00	教育カンファレンス			○				
17:00～8:30	当直(平日 1/週),土日 1～2/月		○				○	○

くぼかわ病院　総合診療科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~9:00	モーニングカンファレンス	○						
9:00~12:00	病棟業務	○	○	○		○		
14:00~16:30	総合外来（初診、再診）	○	○	○				
14:00~16:30	在宅医療					○		
9:00~12:00	救急当番					○		
13:00~16:30	救急当番	○		○				
16:30~17:00	カルテレビュー	○	○	○				
16:30~17:00	教育カンファレンス	○						
17:00~9:00	当直（平日 1/週）、土日 1~2/月）		○				○	○
9:00～12:00	小児科研修（須崎くろしお病院）				○			

四万十市国民健康保険四万十市立市民病院　内科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～9:00	病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	初診外来	○			○			
9:00～12:00	再診外来		○			○		
9:00～12:00	検査(内視鏡・エコー等)			○				
13:00～17:15	病棟業務	○			○			
14:00～17:15	再診外来		○					
14:00～17:15	小児科研修・訪問診療			○				
16:00～17:15	カンファレンス					○		
17:15～8:30	当直(平日 3～4/月、土日 1～2/月)							

大月町国民健康保険大月病院　内科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00~8:30	抄読会	○						

8:00~8:30	画像カンファレンス			○				
8:30~12:00	外来	○			○			
8:30~12:00	検査・救急対応		○			○		
13:00~17:00	外来		○			○		
16:00~17:00	予防接種				○			
13:00~13:30	病棟カンファレンス				○			
13:30~16:00	訪問診療月 2～3 回）	○	○			○		
17:00~8:00	当直（平日 1～2/週、土日 2/月）							
8:00~17:00	日直（土日 2/月）							
8:00-17:00	院外研修			○				

医療法人聖真会渭南病院　外科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～9:00	モーニングカンファレンス			○				
9:00～12:00	一般外来・救急外来	○	○	○	○	○		
9:00～12:00	小児外来（火曜は 11 時～）		○	○				
13:00～14:00	往診	○		○				
14:00～15:00	褥瘡回診					○		
14:00～17:30	病棟業務	○	○	○	○	○		
14:00～17:30	一般外来・救急外来					○		
16:00～17:30	症例検討会、ミニレクチャー					○		
17:30～9:00	当直　平日（1/週）日（1/月）					○		○
14:00～16:00	乳児健診（不定期）		○					

医療法人長生会大井田病院　内科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30~9:00	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		
9:00~12:00	外来業務	○	○		○			
13:30~14:00	多職種連携カンファレンス			○				
14:00~16:30	病棟業務	○				○		
13:00~16:30	訪問診療		○		○	○		
14:00~16:30	小児科診療・予防接種		○	○	○			
16:30~17:00	カルテレビュー		○	○	○	○		
16:30~17:00	教育カンファレンス	○						
17:00~8:30	平日当直（1 回/週）		○					

やまと診療所高知　家庭医療科　（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:50～9:00	カンファレンス	○	○	○	○	○	○	
9:00～13:00	外来／訪問診療	○	○	○	○	○	○	
12:45～13:00	カンファレンス	○	○	○	○	○		
14:00～17:30	外来／訪問診療	○	○		○	○		

木曜日は外来休診、訪問診療のみ

社会医療法人仁生会日高クリニック　内科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～9:00	モーニングカンファレンス	○	○		○	○	○	
9:00～12:30	初診・再診外来	○	○		○	○	○	
9:00～12:00	初診・再診外来(整形外科医連携)						○	
12:30～12:40	併設デイケア利用者チェック	○	○		○	○	○	
13:40～14:00	午後診療カルテチェック	○	○		○	○	○	
14:00～17:30	初診・再診外来	○	○		○	○	○	
13:30～17:30	訪問診療		○					

仁淀川町国民健康保険大崎診療所　内科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来診察	○		○		○		
8:30～12:00	外来検査		○		○			
13:00～14:00	グループホーム診察（1/月）				○			
13:00～17:15	外来診察		○	○				
13:00～17:00	特養診察	○						
13:00～16:00	訪問診療				○			
16:00~17:00	所内委員会（1/月）				○			
16:00～17:00	多職種カンファレンス（2/月）		○					

四万十町国民健康保険大正診療所　内科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～8:35	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		
8:35～12:00	外来診療			○	○	○		
8:35～12:00	検査	○	○					

8:35～12:00	病棟業務、リハビリ診療	○	○			○		
8:35～12:00	救急当番		○			○		
13:00～14:00	地域ケア会議			○				
13:20～14:00	病棟カンファレンス	○						
14:00～15:00	健診			○				
14:00～17:00	外来診療	○			○			
14:00～17:00	訪問診療			○	○			
17:15～18:15	教育カンファレンス			○				
17:15～8:30	当直（平日 2/週）、土日 1~2/月）		○		○		○	○

四万十市国民健康保険西土佐診療所　内科（総合診療専門研修Ⅰ）

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	外来診察	○	○	○	○	○		
13:30～17:00	外来診察	○	○	○	○	○		
13:30～16:00	出張診療所外来診察		○	○				
13:30～15:00	訪問診察				○			
13:30～15:00	回診（介護老人保健施設）				○			
15:00～16:00	カンファレンス				○			
外来終了後	病棟業務	○	○	○	○	○		
17:00～8:30	当直　　**※外部支援あり**	○	○	○	○	○	○	○

本研修プログラムに関連した全体行事の年度スケジュール

SR1:1 年次専攻医、SR2:2 年次専攻医、SR3:3 年次専攻医

月	専攻医関係	研修管理
4	【SR1】研修開始 研修開始式 専攻医オリエンテーション	指導医会議 連携施設研修管理委員会
5	日本プライマリ・ケア連合学会学術大会※	指導医会議
6	【研修修了者】専門医認定審査書類を日本専門医機構へ提出	専攻医個別面談 指導医会議
7	第 1 回　ポートフォリオ発表会・総合診療セミナー	指導医会議 連携施設研修管理委員会
8		指導医会議
9	日本病院総合診療医学会学術総会※	第 1 回　研修管理委員会 　次年度専攻医募集、研修実施状況評価、勤務状況の確認 総合診療専門研修 I 施設説明会 指導医会議
10	【研修修了者】専門医認定審査 第 2 回　ポートフォリオ発表会・総合診療セミナー	専攻医登録開始　希望者の面談 指導医会議 連携施設研修管理委員会
11	日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部地方会※参加（演題もしくはポートフォリオ発表）	指導医会議
12		指導医会議 360 度評価実施
1	第 3 回　ポートフォリオ発表会・総合診療セミナー	指導医会議 連携施設研修管理委員会
2	日本プライマリ・ケア連合学会主催　若手医師のための家庭医療冬期セミナー※ 日本病院総合診療医学会学術総会※	指導医会議 第 2 回　研修管理委員会 　次年度専攻医の採用決定、次年度ローテーション決定 指導医評価実施 研修実施状況評価、研修修了判定
3	【SR1、2、3】研修手帳の確認	指導医会議

※開催時期については確認のこと

3. 専攻医の到達目標（習得すべき知識・技能・態度など）

1) 専門知識

総合診療の専門知識は以下の６領域で構成されます。

① 地域住民が抱える健康問題には単に生物医学的問題のみではなく、患者自身の健康観や病いの経験が絡み合い、患者を取り巻く家族、地域社会、文化などの環境（コンテクスト）が関与していることを全人的に理解し、患者、家族が豊かな人生を送れるように、コミュニケーションを重視した診療・ケアを提供します

② 総合診療の現場では、疾患のごく初期の未分化で多様な訴えに対する適切な臨床推論に基づく診断・治療から、複数の慢性疾患の管理や複雑な健康問題に対する対処、更には健康増進や予防医療まで、多様な健康問題に対する包括的なアプローチが求められます。そうした包括的なアプローチは断片的に提供されるのではなく、地域に対する医療機関としての継続性、更には診療の継続性に基づく医師・患者の信頼関係を通じて、一貫性をもった統合的な形で提供されます

③ 多様な健康問題に的確に対応するためには、地域の多職種との良好な連携体制の中での適切なリーダーシップの発揮に加えて、医療機関同士あるいは医療・介護サービス間での円滑な切れ目ない連携も欠かせません。更に、所属する医療機関内の良好な連携のとれた運営体制は質の高い診療の基盤となり、そのマネジメントは不断におこなう必要があります

④ 地域包括ケア推進の担い手として積極的な役割を果たしつつ、医療機関を受診していない方も含む全住民を対象とした保健・医療・介護・福祉事業への積極的な参画と同時に、地域ニーズに応じた優先度の高い健康関連問題の積極的な把握と体系的なアプローチを通じて、地域全体の健康向上に寄与します

⑤ 総合診療専門医は日本の総合診療の現場が外来・救急・病棟・在宅と多様であることを踏まえて、その能力を場に応じて柔軟に適用することが求められ、その際には各現場に応じた多様な対応能力が求められます

⑥ 繰り返し必要となる知識を身につけ、臨床疫学的知見を基盤としながらも、常に重大ないし緊急な病態に注意した推論を実践します

2) 専門技能（診察、検査、診断、処置、手術など）

総合診療の専門技能は以下の５領域で構成されます。

① 外来・救急・病棟・在宅という多様な総合診療の現場で遭遇する一般的な症候及び疾患への評価及び治療に必要な身体診察及び検査・治療手技

② 患者との円滑な対話と医師・患者の信頼関係の構築を土台として患者中心の医療面接をおこない、複雑な人間関係や環境の問題に対応するためのコミュニケーション技法

③ 診療情報の継続性を保ち、自己省察や学術的利用に耐えうるように、過不足なく適切な診療記録を記載し、他の医療・介護・福祉関連施設に紹介するときには、患者の診療情報を適切に診療情報提供書へ記載して速やかに情報提供することができる能力

④ 生涯学習のために、情報技術（information technology: IT）を適切に用いたり、地域ニーズに応じた技能の修練を行ったり、人的ネットワークを構築することができる能力

⑤　診療所・中小病院において基本的な医療機器や人材などの管理ができ、スタッフとの協働において適切なリーダーシップの提供を通じてチームの力を最大限に発揮させる能力

3)　経験すべき疾患・病態

以下の経験目標については一律に症例数で規定しておらず、各項目に応じた到達段階を満たすことが求められます。（研修手帳参照）

なお、この項目以降での経験の要求水準としては、「一般的なケースで、自ら判断して対応あるいは実施できたこと」とします。

①　以下に示す一般的な症候に対し、臨床推論に基づく鑑別診断及び、他の専門医へのコンサルテーションを含む初期対応を適切に実施し、問題解決に結びつける経験をします。（全て必須）

ショック	急性中毒	意識障害	疲労・全身倦怠感
心肺停止	呼吸困難	身体機能の低下	不眠
食欲不振	体重減少・るいそう	体重増加・肥満	浮腫
リンパ節腫脹	発疹	黄疸	発熱
認知能の障害	頭痛	めまい	失神
言語障害	けいれん発作	視力障害・視野狭窄	目の充血
聴力障害・耳痛	鼻漏・鼻閉	鼻出血	嗄声
胸痛	動悸	咳・痰	咽頭痛
誤嚥	誤飲	嚥下困難	吐血・下血
嘔気・嘔吐	胸やけ	腹痛	便通異常
肛門・会陰部痛	熱傷	外傷	褥瘡
背部痛	腰痛	関節痛	歩行障害
四肢のしびれ	肉眼的血尿	排尿障害（尿失禁・排尿困難）	
乏尿・尿閉	多尿	不安	気分の障害（うつ）
興奮	女性特有の訴え・症状	妊婦の訴え・症状	成長・発達の障害

②　以下に示す一般的な疾患・病態について、必要に応じて他の専門医・医療職と連携をとりながら、適切なマネジメントを経験します。　（必須項目のカテゴリーのみ掲載）

貧血	脳・脊髄血管障害	脳・脊髄外傷	変性疾患
脳炎・髄膜炎	一次性頭痛	湿疹・皮膚炎群	蕁麻疹
薬疹	皮膚感染症	骨折	
関節・靭帯の損傷及び障害		骨粗鬆症	脊柱障害
心不全	狭心症・心筋梗塞	不整脈	動脈疾患
静脈・リンパ管疾患	高血圧症	呼吸不全	呼吸器感染症

閉塞性・拘束性肺疾患	異常呼吸	胸膜・縦隔・横隔膜疾患	
食道・胃・十二指腸疾患		小腸・大腸疾患	胆嚢・胆管疾患
肝疾患	膵臓疾患	腹壁・腹膜疾患	腎不全
全身疾患による腎障害	泌尿器科的腎・尿路疾患		妊婦・授乳婦・褥婦のケア
女性生殖器及びその関連疾患		男性生殖器疾患	甲状腺疾患
糖代謝異常	脂質異常症	蛋白及び核酸代謝異常	
角結膜炎	中耳炎	急性・慢性副鼻腔炎	アレルギー性鼻炎
認知症	依存症（アルコール依存、ニコチン依存）		うつ病
不安障害	身体症状症（身体表現性障害）		適応障害
不眠症	ウイルス感染症	細菌感染症	膠原病とその合併症
中毒	アナフィラキシー	熱傷	小児ウイルス感染
小児細菌感染症	小児喘息	小児虐待の評価	高齢者総合機能評価
老年症候群	維持治療期~~機~~の悪性腫瘍		緩和ケア

※ 詳細は資料「研修目標及び研修の場」を参照

4) 経験すべき診察・検査等

以下に示す、総合診療の現場で遭遇する一般的な症候及び疾患への評価及び治療に必要な身体診察及び検査を経験します。なお、下記の経験目標については一律に症例数や経験数で規定しておらず、各項目に応じた到達段階を満たすことが求められます。（研修手帳参照）

① 身体診察

（ア）小児の一般的身体診察及び乳幼児の発達スクリーニング診察

（イ）成人患者への身体診察（直腸、前立腺、陰茎、精巣、鼠径、乳房、筋骨格系、神経系、皮膚を含む）

（ウ）高齢患者への高齢者機能評価を目的とした身体診察（歩行機能、転倒・骨折リスク評価など）や認知機能検査（HDS-R、MMSE など）

（エ）耳鏡・鼻鏡・眼底鏡による診察

（オ）死亡診断を実施し、死亡診断書を作成

② 検査

（ア）各種の採血法（静脈血・動脈血）、簡易機器による血液検査・簡易血糖測定・簡易凝固能検査

（イ）採尿法（導尿法を含む）

（ウ）注射法（皮内・皮下・筋肉・静脈内・点滴・成人及び小児の静脈確保法、中心静脈確保法）

（エ）穿刺法（腰椎・膝関節・肩関節・胸腔・腹腔・骨髄を含む）

（オ）単純Ｘ線検査（胸部・腹部・KUB・骨格系を中心に）
（カ）心電図検査・ホルター心電図検査・負荷心電図検査
（キ）超音波検査（腹部・表在・心臓・下肢静脈）
（ク）生体標本（喀痰、尿、皮膚等）に対する顕微鏡的診断
（ケ）呼吸機能検査
（コ）オージオメトリーによる聴力評価及び視力検査表による視力評価
（サ）頭・頚・胸部単純 CT、腹部単純・造影 CT
※ 詳細は資料「研修目標及び研修の場」を参照

5) 経験すべき手術・処置等

以下に示す、総合診療の現場で遭遇する一般的な症候及び疾患への評価及び治療に必要な治療手技を経験します。なお、下記については一律に経験数で規定しておらず、各項目に応じた到達段階を満たすことが求められます。（研修手帳参照）

① 救急処置

（ア）新生児、幼児、小児の心肺蘇生法（PALS）
（イ）成人心肺蘇生法（ICLS または ACLS）または内科救急・ICLS 講習会（JMECC）
（ウ）外傷救急（JATEC）

② 薬物治療

（ア）使用頻度の多い薬剤の副作用・相互作用・形状・薬価・保険適応を理解して処方することができる
（イ）適切な処方箋を記載し発行できる
（ウ）処方、調剤方法の工夫ができる
（エ）調剤薬局との連携ができる
（オ）麻薬管理ができる

③ 治療手技・小手術

簡単な切開・異物摘出・ドレナージ　止血・縫合法及び閉鎖療法
簡単な脱臼の整復、包帯・副木・ギプス法　局所麻酔（手指のブロック注射を含む）
トリガーポイント注射　関節注射（膝関節・肩関節等）
静脈ルート確保及び輸液管理（IVH を含む）　経鼻胃管及びイレウス管の挿入と管理
胃瘻カテーテルの交換と管理
導尿及び尿道留置カテーテル・膀胱瘻カテーテルの留置及び交換
在宅酸素療法の導入と管理　人工呼吸器の導入と管理
褥瘡に対する被覆治療及びデブリードマン
輸血法（血液型・交差適合試験の判定や在宅輸血のガイドラインを含む）
各種ブロック注射（仙骨硬膜外ブロック・正中神経ブロック等）

小手術（局所麻酔下での簡単な切開・摘出・止血・縫合法）
包帯・テーピング・副木・ギプス等による固定法
穿刺法（胸腔穿刺・腹腔穿刺・骨髄穿刺等）　睫毛抜去
鼻出血の一時的止血　　耳垢除去、外耳道異物除去
咽喉頭異物の除去（間接喉頭鏡、上部消化管内視鏡などを使用）

4. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得

経験を省察しながら能力向上を図るプロセスにおいて各種カンファレンスは重要な役割を担います。また、症例のまとめ方や提示方法について学ぶのにも適しています。以下の 3 つの場面でカンファレンスを活発に開催します。

1) 外来医療
幅広い症例を経験し、主に臨床推論や、疾患の初期症状に対する適切な診断や、慢性疾患の長期的な管理について学びます

2) 在宅医療
患者を取り巻くコンテクストの理解や、保健・介護・福祉分野との連携を学びます

3) 病棟医療
多職種との協力によるチーム医療について学びます。また、退院支援や地域連携についても理解を深めます

5. 学問的姿勢について

専攻医には以下の 2 つの学問的姿勢が求められます。

1) 標準以上の診療能力を維持するために、ワークライフバランスを保ちつつ生涯にわたり自己研鑽を積む
2) 総合診療の発展に貢献するために、教育者としての啓発活動や研究者としての学術活動を継続する

この実現のための具体的な目標を下記に示します。

1) 教育
① 学生・研修医に対して一対一の教育をおこなうことができる
② 学生・研修医向けにあるテーマに沿ったイベント（セッション、カンファレンス、研修会、検討会など）を企画・実施・評価することができる
③ 連携する多職種への教育を提供することができる

2) 研究
① 日々の診療の中から研究課題を見つけ出し、症例報告をすることができる
② 量的研究と質的研究について理解し、臨床研究を提案することができる

6. 医師に必要な資質・能力、倫理性、社会性などについて

総合診療専攻医は以下４項目の実践を目指して研修をおこないます。

1) 医師としての倫理観や説明責任はもちろんのこと、総合診療医としての専門性を自覚しながら日々の診療にあたることができる
2) 安全管理（医療事故、感染症、廃棄物、放射線など）をおこなうことができる
3) 地域の現状から見出される優先度の高い健康関連問題を把握し、その解決に対して各種会議への参加や住民組織との協働、あるいは地域ニーズに応じた自らの診療の継続や変容を通じて貢献できる
4) へき地・離島、被災地、医療資源に乏しい地域、あるいは医療アクセスが困難な地域でも、可能な限りの医療・ケアを率先して提供できる

7. 施設群による研修プログラム及び地域医療についての考え方

本研修プログラムは高知大学医学部附属病院を基幹施設とし、33 か所の連携施設とともに施設群を構成しています。施設群には、高知県内の三次医療を担う大学病院から、地域の中核的な医療機関、総合診療を担う医療機関までを含み、また人口集中地から医療資源の少ない中山間地域などの地理的条件もさまざまな医療機関を含んでいます。研修を通して地域医療の全体像を理解するために、これらをバランスよく、かつ幅広く経験することが肝要です。

1) 本研修プログラムでは、総合診療専門研修Ⅰとして 14 病院、5 診療所、総合診療専門研修Ⅱとして 10 病院があります。総合診療専門研修Ⅰを 12 か月、総合診療専門研修Ⅱを 6 か月、合計 18 か月を標準とします。
2) 総合診療専門研修Ⅰもしくは Ⅱのいずれかでは医師不足地域にある医療機関での研修をおこなうようにローテートを決定します。ここでいう医師不足地域とは、高知市、南国市以外のことを指し、総合診療専門研修Ⅰ 19 施設のうち 16 施設、総合診療専門研修Ⅱ 10 病院のうち 3 病院が医師不足地域にあります。
3) 内科（6～12 か月）、小児科（3 か月）、救急科（3 か月）の研修は、総合診療専門研修Ⅱと同じ病院での研修をおこなうことを推奨します。しかし、総合診療専門研修Ⅱの病院がこれらすべての研修を提供できない場合もあり、高知大学医学部附属病院を含め複数の病院でこれらの研修をおこなうことになります。
4) 領域別研修（1 か月単位 6 か月以内）は、高知大学医学部附属病院の他、総合診療専門研修Ⅱを担当する 9 病院でおこなうことができます。専攻医のニーズや到達目標の達成状況を考慮して、研修先を調整します。

8. 研修プログラムの施設群

本研修プログラムは基幹施設１、連携施設 33、合計 34 施設の施設群で構成されます。施設はすべて高知県内の施設です。各施設の診療実績や医師の配置状況は、11.研修施設の概要（61 ページ）を参照してください。

【専門研修基幹施設】

高知大学医学部附属病院が専門研修基幹施設となります。

【専門研修連携施設】

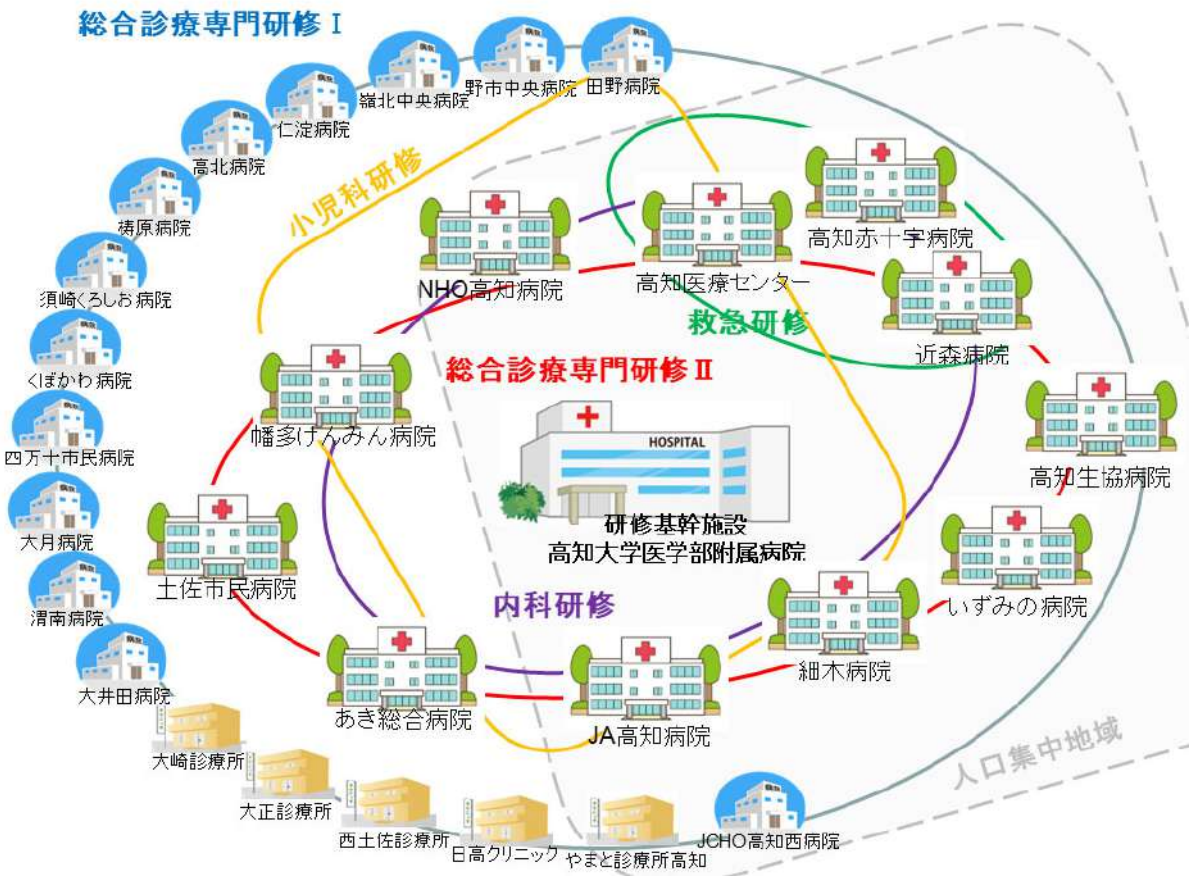
本研修プログラムの施設群を構成する専門研修連携施設は以下の通りです。

- 県立あき総合病院（高知県東部の安芸保健医療圏の中心的な病院として、救急医療から在宅医療まで担っています）
- 県立幡多けんみん病院（高知県西部の幡多保健医療圏の中心的な病院として、周産期医療、がん診療、救急医療、などを担っています）
- 高知県・高知市病院企業団立高知医療センター（救命救急センター、総合周産期母子センター、へき地医療拠点病院、などであり政策医療の中心的な病院です）
- 社会医療法人近森会近森病院（高知市内で救急医療を中心とした急性期を担う病院で、北米 ER 型の救命救急センター、高度なチーム医療の実践など先進的な取り組みをおこなう病院です）
- 日本赤十字社高知県支部高知赤十字病院（高知県で最初の救命救急センターの設置し、地域医療支援病院、災害医療拠点病院、高知県がん診療連携推進病院など多くの役割を担っています）
- 独立行政法人国立病院機構高知病院（高知市西部の地域の中核的な病院として、急性期及び回復期医療を担うとともに、災害拠点病院、高知 DMAT 指定病院、高知県がん診療連携推進病院の指定を受けている他、周辺の診療所・福祉施設の連携も強化し地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます）
- 社会医療法人仁生会細木病院（高知市中心部で急性期から回復期、慢性期、在宅医療、緩和ケア、介護サービスまで、様々な病態に対応したトータルヘルスケアを実践している地域の中心的な病院です）
- いずみの病院（総合診療を基本に、高度医療も併せて提供し、急性期、回復期、緩和ケアなどがあり、地域に密着した医療を担っている病院です）
- JA 高知病院（南国市にあり、急性期医療から回復期を担い、中央保健医療圏東部の地域医療機関の拠点となっている病院です）
- 土佐市立土佐市民病院（土佐市の中核的な病院として 25 診療科目を有し、二次救急を主体とした急性期医療、地域包括ケア病床を有し地域連携による在宅復帰支援に取り組んでいる病院です）
- 高知医療生活協同組合高知生協病院（あたたかく心の通う地域医療を目指し、内科、外科、整形外科の専門医療を提供しており、初期・二次救急診療から在宅医療までおこなっています）
- 医療法人臼井会田野病院（高知県東部の安芸保健医療圏の中核的病院として急性期、回復期を担っており、周辺の介護保険施設との連携、在宅医療も推進し、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます）
- 医療法人公世会野市中央病院（中央保健医療圏東部のケアミックス型の病院で、基幹病院との

連携、在宅復帰支援、周辺のクリニック等との連携を強化した在宅医療にも取り組んでいます）

- 本山町立国民健康保険嶺北中央病院（本山町内唯一の病院としてだけではなく、地域の中核的な病院として急性期、回復期、慢性期を担い、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます）
- 独立行政法人地域医療機能推進機構高知西病院（地域医療の拠点となる病院として、急性期疾患のみならず回復期リハビリテーション、透析医療、健診センターを３つの大きな柱としています）
- いの町立国民健康保険仁淀病院（救急告示病院として急性期医療を担っている他、併設する介護老人保健施設、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションや、周辺の医療機関、介護施設とも連携し、回復期、慢性期の医療をも担う地域包括ケアシステムの拠点となる病院です）
- 佐川町立高北国民健康保険病院（救急告示病院として救急疾患の対応を含めた総合診療を実践しているほか、併設している介護老人保健施設、通所リハビリテーション、通所介護などとも連携し、在宅医療も実践する地域包括ケアシステムの拠点となる病院です）
- 梼原町立国民健康保険梼原病院（総合診療を中心として急性期医療から回復期の幅広いニーズに対応するとともに、併設する保健福祉支援センターなどと強固に連携し、看取りを含めた在宅医療、慢性期医療をも担い、地域包括ケアシステムの拠点となる病院です）
- 医療法人五月会須崎くろしお病院（高幡保健医療圏の中核的な病院として、急性期、回復期の医療を担うほか、近隣の医療機関、福祉施設等とも連携し地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます）
- くぼかわ病院（高幡保健医療圏の中核的な病院として急性期医療のみならず、併設する介護老人保健施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所とともに在宅へとつながる医療を提供できる体制を構築しています）
- 四万十市国民健康保険四万十市立市民病院（幡多保健医療圏東部の中核的な病院として幅広い疾患の急性期から回復期を担っています）
- 大月町国民健康保険大月病院（地域包括ケアを実践する病院として、1.5 次救急医療、在宅医療、終末期医療、離島医療、学校保健、住民健診など幅広い地域ニーズに対応しています）
- 医療法人聖真会渭南病院（土佐清水市の中核的な病院として救急医療を担うほか、在宅医療連携拠点として、周辺の医療機関、福祉施設、行政とも連携し地域包括ケアシステムの拠点となっています）
- 特定医療法人長生会大井田病院（幡多保健医療圏西部の中核的な病院として、小児から高齢者まで幅広い疾患に対応する地域に根ざした医療を提供する病院です）
- やまと診療所高知（高知市中心部で家庭医療を行う診療所として、外来・訪問診療・学校医・健診・予防接種など、乳幼児から超高齢者まで診療しています）
- 社会医療法人仁生会日高クリニック（日高村唯一の医療機関としてかかりつけ医機能を担うほか、福祉との連携、学校保健、病後児保育、健康教室など積極的におこなっています）
- 仁淀川町国民健康保険大崎診療所（高齢化率が 50%を超える仁淀川町で地域のかかりつけ医として高次医療機関との連携も重視した診療をおこない、福祉施設との連携、在宅医療などにも取り組んでいます）

- 四万十町国民健康保険大正診療所（旧大正町唯一の医療機関としての総合的な外来診療、救急医療、入院医療、在宅医療、無医地区巡回診療など幅広く対応し、毎週の地域ケア会議をおこない地域包括ケアに取り組んでいます）
- 四万十市国民健康保険西土佐診療所（旧西土佐村唯一の医療機関として、高次医療機関とも連携した医療の提供、福祉施設との連携、在宅医療、学校保健、産業保健など幅広く取り組んでいます）
- 医療法人佐野会佐野内科リハビリテーションクリニック
- けら小児科アレルギー科
- 医療法人十全会早明浦病院
- 医療法人みどり会鈴木内科



各施設でおこなうことのできる研修

	総合1	総合2	内科	小児科	救急	外科	整形外科	産婦人科	脳神経外科	その他領域別 精神科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	その他
高知大学医学部附属病院			○[1]	○			○	○		○	○	○	○		○[2]
高知県立あき総合病院		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高知県立幡多けんみん病院		○	○[3]	○		○	○								
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター		○	○[4]	○	○	○	○	○		○[5]	○	○	○		○[6]

	総合1	総合2	内科	小児科	救急	その他領域別									
						外科	整形外科	産婦人科	脳神経外科	精神科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	その他
社会医療法人近森会近森病院		○	○		○		○								
日本赤十字社高知県支部高知赤十字病院			○		○										
独立行政法人国立病院機構高知病院		○	○[7]	○		○	○	○			○	○	○	○	
社会医療法人仁生会細木病院		○	○	○			○								
いずみの病院		○													
JA 高知病院		○	○	○		○		○					○		
土佐市立土佐市民病院		○				○	○							○	○[8]
高知医療生活協同組合高知生協病院	○	○				○	○								○[9]
医療法人臼井会田野病院	○			○											
医療法人公世会野市中央病院	○														
本山町立国民健康保険嶺北中央病院	○														
独立行政法人地域医療機能推進機構高知西病院	○														
いの町立国民健康保険仁淀病院	○														
佐川町立高北国民健康保険病院	○														
梼原町立国民健康保険梼原病院	○														
医療法人五月会須崎くろしお病院	○														
くぼかわ病院	○														
四万十市国民健康保険四万十市立市民病院	○														
大月町国民健康保険大月病院	○														
医療法人聖真会渭南病院	○														
医療法人長生会大井田病院	○														
医療法人社団やまとやまと診療所高知	○														
社会医療法人仁生会日高クリニック	○														
仁淀川町国民健康保険大崎診療所	○														
四万十町国民健康保険大正診療所	○														
四万十市国民健康保険西土佐診療所	○														
医療法人佐野会佐野内科リハビリテーションクリニック															○[10]
医療法人慈昭会けら小児科アレルギー科															○[11]
医療法人十全会早明浦病院															○[11]
医療法人みどり会鈴木内科															○[12]

○[1]:消化器内科、内分泌代謝・腎臓内科、呼吸器・アレルギー内科、血液内科、老年病・循環器内科、脳神経内科、○[2]:総合診療・漢方外来、形成外科、○[3]:内科、消化器内科、循環器内科、○[4]:消化器内科、糖尿病・内分泌科、腎臓内科・膠原病科、呼吸器内科、血液内科・輸血科、循環器内科、○[5]:精神科および児童精神科、○[6]:放射線科・放射線療法科、○[7]:消化器内科、リウマチ科、呼吸器内科、血液・感染症、循環器内科、○[8]:麻酔科、○[9]:在宅医療科、○[10]:不足領域の補完（外来診療でのグラム染色、筋膜リリース）、○[11]:総合診療専門研修Ⅰにおける不足領域の補完（小児診療）、○[12]:総合診療専門研修Ⅰにおける不足領域の補完（在宅診療）

9. 専攻医の受け入れ数について

本研修プログラムでは、年度毎の専攻医数の上限は 12 名とします。総合診療専門研修Ⅰの施設においては在籍できる専攻医数は 1 施設あたり 1 名までを原則とします。総合診療専門研修Ⅱの施設においては総合診療専門研修特任指導医×2 までを原則とします。本研修プログラムでは、総合診療専門研修Ⅰの施設には 21 名、総合診療専門研修Ⅱの施設には 20 名の総合診療専門研修特任指導医を配置しています。

またローテートする各診療科における同時期に受け入れできる専攻医の数は、指導を担当する医師 1 名に対して 3 名までですが、本研修プログラムでは 1 名を原則とします。それは、専攻医が十分な経験を積むことができると同時に質の高い研修を保証するためのものです。専攻医のローテーションの状況により 1 つの診療科に 2 名までは許容されますが、その際も専攻医の経験数、研修の質が確保されていることを高知家総合診療専門研修管理委員会において十分に検討したうえでおこないます。

10. 施設群における専門研修コースについて

本研修プログラムの施設群による研修コース例を示します。専門研修 1、2 年目は、県立あき総合病院、県立幡多けんみん病院、高知県・高知市病院企業団立高知医療センター、独立行政法人国立病院機構高知病院、社会医療法人仁生会細木病院、社会医療法人近森会近森病院、高知赤十字病院、いずみの病院、JA 高知病院、土佐市立市民病院、高知医療生活協同組合高知生協病院、いずれかの施設で総合診療専門研修Ⅱ、内科研修、小児科研修、救急科研修をおこないます。同じ施設内で内科研修、小児科研修、救急科研修の全てがおこなえない場合は、施設群内の他の連携施設でおこないます。また臨床研修で外科研修が不十分な場合や、各々の専攻医が必要と考える領域（整形外科、産婦人科、精神科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科、麻酔科など）の研修を 1 か月単位で 6 か月を上限として研修することができます。その期間は、総合診療専門研修Ⅱの研修の一部とみなします。3 年目は、17 か所の連携施設で総合診療専門研修Ⅰをおこないます。総合診療専門研修ⅠとⅡがともに高知県中央部（高知市・南国市）の医療機関にならないこととし、いずれかの研修もしくは両方の研修を高知県中央部以外の医師不足地域でおこなうこととします。

総合診療専門研修Ⅰとして、十分な小児診療、訪問診療、地域包括ケアの経験が得られない施設においては、近隣地域内の他施設と連携することで研修機会を十分に確保することを原則とします。それでも地域の状況等により十分な研修機会が確保できない場合は、領域別研修の期間にそれぞれ小児科クリニック（けら小児科アレルギー科等）、在宅療養支援病院（高知生協病院等）において研修をおこなうものとします。

ローテーション例(1)

<table>
<tr><th></th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th></tr>
<tr><td rowspan="2">専門研修
1年目</td><td colspan="12">細木病院</td></tr>
<tr><td colspan="12">内科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門研修
2年目</td><td colspan="9">細木病院</td><td colspan="3">近森病院</td></tr>
<tr><td colspan="6">総合診療専門研修Ⅱ</td><td colspan="3">小児科</td><td colspan="3">救急科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門研修
3年目</td><td colspan="12">嶺北中央病院</td></tr>
<tr><td colspan="12">総合診療専門研修Ⅰ</td></tr>
</table>

ローテーション例(2)

<table>
<tr><th></th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th></tr>
<tr><td rowspan="2">専門研修
1年目</td><td colspan="12">幡多けんみん病院</td></tr>
<tr><td colspan="6">内科</td><td colspan="4">総合診療専門研修Ⅱ</td><td colspan="2">総合Ⅱ/外科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門研修
2年目</td><td colspan="12">高知医療センター</td></tr>
<tr><td colspan="6">内科</td><td colspan="3">小児科</td><td colspan="3">救急科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門研修
3年目</td><td colspan="12">JCHO 高知西病院</td></tr>
<tr><td colspan="12">総合診療専門研修Ⅰ</td></tr>
</table>

☆☆総合診療専門研修プログラム　研修目標及び研修の場	◎:主たる研修の場　○:従たる研修の場					
Ⅰ．一般的な症候及び疾患へのへの評価及び治療に必要な診察及び検査・治療手技 以下に示す検査・治療手技のうち、※印の項目は90%以上の経験が必須だが、それ以外についてもできる限り経験することが望ましい。	総合診療専門研修Ⅰ（診療所/中小病院）	総合診療専門研修Ⅱ（病院総合診療部門）	内科	小児科	救急科	他の領域別研修
（ア）身体診察						
※①小児の一般的身体診察及び乳幼児の発達スクリーニング診察を実施できる。	◎			◎		
※②成人患者への身体診察（直腸、前立腺、陰茎、精巣、鼠径、乳房、筋骨格系、神経系、皮膚を含む）を実施できる	◎	◎	◎		◎	○
※③高齢患者への高齢者機能評価を目的とした身体診察（歩行機能、転倒・骨折リスク評価など）や認知機能検査（HDS-R、MMSEなど）を実施できる。	◎	◎	○			
※④耳鏡・鼻鏡・眼底鏡による診察を実施できる。	◎	◎				○
※⑤死亡診断を実施し、死亡診断書を作成できる。	◎	◎	○		○	
⑥死体検案を警察担当者とともに実施し、死体検案書を作成できる。	◎	○			◎	
（イ）実施すべき手技						
※①各種の採血法(静脈血・動脈血)、簡易機器による血液検査・簡易血糖測定・簡易凝固能検査	◎	◎	◎	○	◎	
※②採尿法（導尿法を含む）	◎	◎	◎	○	◎	
※③注射法(皮内・皮下・筋肉・静脈内・点滴・成人及び小児静脈確保法、中心静脈確保法)	◎	◎	○	◎	◎	
※④穿刺法（腰椎・膝関節・肩関節・胸腔・腹腔・骨髄を含む）	◎	◎	○	◎	◎	
（ウ）検査の適応の判断と結果の解釈が必要な検査						
※①単純Ｘ線検査（胸部・腹部・KUB・骨格系を中心に）	◎	◎	○	○	○	
※②心電図検査・ホルター心電図検査・負荷心電図検査	◎	◎	○		○	
※③超音波検査（腹部・表在・心臓、下肢静脈）	◎	◎	◎		○	
※④生体標本（喀痰、尿、皮膚等）に対する顕微鏡的診断	○	◎	○	○	○	
※⑤呼吸機能検査	○	◎	○			
※⑥オージオメトリーによる聴力評価及び視力検査表による視力評価	◎					○
⑦消化管内視鏡（上部）	○	○	◎			
⑧消化管内視鏡（下部）	○	○	◎			
⑨造影検査（胃透視、注腸透視、DIP）	○	○	◎			
※⑩頭・頚・胸部単純CT、腹部単純・造影CT		◎	◎	○	◎	
⑪頭部MRI/MRA		◎	◎	○	◎	
（エ）救急処置						
※①新生児、幼児、小児の心肺蘇生法（PALS）	○	○	○	◎	◎	
※②成人心肺蘇生法（ICLSまたはACLS）または内科救急・ICLS講習会（JMECC）	○	○	○		◎	
※③外傷救急（JATEC）					◎	
（オ）薬物治療						
※①使用頻度の多い薬剤の副作用・相互作用・形状・薬価・保険適応を理解して処方することができる。	◎	◎	○	○	○	
※②適切な処方箋を記載し発行できる。	◎	◎	○			
※③処方、調剤方法の工夫ができる。	◎	○	○	◎	○	
※④調剤薬局との連携ができる。	◎	◎		○		
⑤麻薬管理ができる。	○	◎	○			
（カ）治療法						
※①簡単な切開・異物摘出・ドレナージ	◎	○			◎	○
※②止血・縫合法及び閉鎖療法	◎	○			◎	○
※③簡単な脱臼の整復	◎	○		○	◎	○
※④局所麻酔（手指のブロック注射を含む）	◎	○			◎	○
※⑤トリガーポイント注射	◎	○				○
※⑥関節注射（膝関節・肩関節等）	◎	○				○
※⑦静脈ルート確保および輸液管理（IVHを含む）	◎	◎	○	○	◎	
※⑧経鼻胃管及びイレウス管の挿入と管理	◎	◎	○		○	
※⑨胃瘻カテーテルの交換と管理	◎	○	○			
※⑩導尿及び尿道留置カテーテル・膀胱瘻カテーテルの留置及び交換	◎	◎	○		○	○
※⑪褥瘡に対する被覆治療及びデブリードマン	◎	○				○
※⑫在宅酸素療法の導入と管理	◎	◎	○			
※⑬人工呼吸器の導入と管理	○	◎	○		◎	
⑭輸血法（血液型・交差適合試験の判定や在宅輸血のガイドラインを含む）	○	◎	○			
⑮各種ブロック注射（仙骨硬膜外ブロック・正中神経ブロック等）	○	○				○
⑯小手術（局所麻酔下での簡単な切開・摘出・止血・縫合法）	○	○			◎	○
※⑰包帯・テーピング・副木・ギプス等による固定法	◎	○			◎	○
⑱穿刺法（胸腔穿刺・腹腔穿刺・骨髄穿刺等）	○	◎	◎	◎	◎	
※⑲鼻出血の一時的止血	◎				◎	○
※⑳耳垢除去、外耳道異物除去	◎			◎		○
㉑咽喉頭異物の除去（間接喉頭鏡、上部消化管内視鏡などを使用）	◎				◎	○
㉒睫毛抜去	◎					◎

Ⅱ．一般的な症候への適切な対応と問題解決 以下に示す症候すべてにおいて、臨床推論に基づく鑑別診断および、初期対応（他の専門医へのコンサルテーションを含む）を適切に実施できる。	総合診療専門研修Ⅰ（診療所/中小病院）	総合診療専門研修Ⅱ（病院総合診療部門）	内科	小児科	救急科	他の領域別研修
ショック	○	○	○		◎	
急性中毒	○	○	○		◎	
意識障害	○	○	○		◎	
疲労・全身倦怠感	◎	◎	○			
心肺停止	○	○	○		◎	
呼吸困難	○	○	○		◎	
身体機能の低下	◎	◎				
不眠	◎	○				
食欲不振	◎	◎	○			
体重減少・るいそう	◎	◎	○			
体重増加・肥満	◎	◎				
浮腫	◎	◎	○			
リンパ節腫脹	◎	◎	○	○		
発疹	◎	○		○	○	○
黄疸	○	◎	◎			
発熱	◎	◎	○	◎	◎	
認知能の障害	◎	◎	○			
頭痛	◎	◎	○	○	◎	
めまい	◎	◎	○		◎	
失神	○	○	○		◎	
言語障害	○	○			◎	
けいれん発作	○	○	○	◎	◎	
視力障害・視野狭窄	◎	○			○	○
目の充血	◎	○		○	○	○
聴力障害・耳痛	◎	○		○		○
鼻漏・鼻閉	◎	○		○		○
鼻出血	◎	○			◎	○
さ声	◎	○				○
胸痛	◎	◎	○		◎	
動悸	◎	◎	○		◎	
咳・痰	◎	◎	○	◎	○	
咽頭痛	◎	◎	○	◎	○	
誤嚥	◎	○	○		◎	○
誤飲	○			◎	◎	
嚥下困難	◎	◎	○		○	○
吐血・下血	○	○	◎	○	◎	
嘔気・嘔吐	◎	◎	○	◎	◎	
胸やけ	◎	◎	○		○	
腹痛	◎	◎	○	◎	◎	
便通異常	◎	○	○	○		
肛門・会陰部痛	◎	○	○			
熱傷	◎	○		○	◎	○
外傷	◎				◎	◎
褥瘡	◎	○				○
背部痛	◎	○			○	○
腰痛	◎	○				○
関節痛	◎	○				○
歩行障害	◎	○			○	○
四肢のしびれ	◎	○				○
肉眼的血尿	◎	○			○	○
排尿障害（尿失禁・排尿困難）	◎	○				○
乏尿・尿閉	◎	○			○	○
多尿	◎	○				○
不安	◎	○				○
気分の障害（うつ）	◎	○				○
興奮					◎	○
女性特有の訴え・症状	◎	○				○
妊婦の訴え・症状	○	○	○		○	◎
成長・発達の障害	○			◎		

Ⅲ　一般的な疾患・病態に対する適切なマネジメント 以下に示す一般的な疾患・病態について、必要に応じて他の専門医・医療職と連携をとりながら、適切なマネジメントができる。また、（　）内は主たる疾患であるが、例示である。 ※印の疾患・病態群は90%以上の経験が必須だが、それ以外についてもできる限り経験することが望ましい。	総合診療専門研修Ⅰ（診療所/中小病院）	総合診療専門研修Ⅱ（病院総合診療部門）	内科	小児科	救急科	他の領域別研修
（1）血液・造血器・リンパ網内系疾患						
※[1]貧血（鉄欠乏貧血、二次性貧血）	◎	◎	◎	○	○	
[2]白血病			◎			
[3]悪性リンパ腫			◎			
[4]出血傾向・紫斑病		○	◎	○	○	
（2）神経系疾患						
※[1]脳・脊髄血管障害（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）	○	◎	○		◎	◎
※[2]脳・脊髄外傷（頭部外傷、急性硬膜外・硬膜下血腫）	○	○			◎	◎
※[3]変性疾患（パーキンソン病）	○	○	◎			
※[4]脳炎・髄膜炎		○	○	○	◎	
※[5]一次性頭痛（片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛）	◎	◎	○	○	○	
（3）皮膚系疾患						
※[1]湿疹・皮膚炎群（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、皮脂欠乏性皮膚炎）	◎	○		◎		◎
※[2]蕁麻疹	◎	○		◎	○	◎
※[3]薬疹	◎	◎	◎	○	○	◎
※[4]皮膚感染症（伝染性膿痂疹、蜂窩織炎、白癬症、カンジダ症、尋常性ざ瘡、感染性粉瘤、伝染性軟属腫、疥癬）	◎	○		◎		◎
（4）運動器（筋骨格）系疾患						
※[1]骨折（脊椎圧迫骨折、大腿骨頸部骨折、橈骨骨折）	◎	○			◎	◎
※[2]関節・靭帯の損傷及び障害（変形性関節症、捻挫、肘内障、腱板炎）	◎	○			◎	◎
※[3]骨粗鬆症	◎	○	○			◎
※[4]脊柱障害（腰痛症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症）	◎				○	◎
（5）循環器系疾患						
※[1]心不全	◎	◎	◎		◎	
※[2]狭心症、心筋梗塞	○	○	◎		◎	
[3]心筋症			○	○	○	
※[4]不整脈（心房細動、房室ブロック）	○	◎	◎		◎	
[5]弁膜症（僧帽弁膜症、大動脈弁膜症）	○	○	◎	○		
※[6]動脈疾患（動脈硬化症、大動脈瘤）	○	○	◎		○	
※[7]静脈・リンパ管疾患（深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫）	◎	◎	○			
※[8]高血圧症（本態性、二次性）	◎	◎	◎			
（6）呼吸器系疾患						
※[1]呼吸不全（在宅酸素療法含む）	◎	◎	◎	○	◎	
※[2]呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）	◎	◎	○	◎	◎	
※[3]閉塞性・拘束性肺疾患（気管支喘息、気管支拡張症、慢性閉塞性肺疾患、塵肺）	◎	◎	◎	◎	◎	
[4]肺循環障害（肺塞栓・肺梗塞）	○	○	◎		◎	
※[5]異常呼吸（過換気症候群、睡眠時無呼吸症候群）	◎	◎	○	○	◎	
※[6]胸膜・縦隔・横隔膜疾患（自然気胸、胸膜炎）	◎	◎	◎		◎	
[7]肺癌	○	○	◎			
（7）消化器系疾患						
※[1]食道・胃・十二指腸疾患（食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎、逆流性食道炎）	◎	◎	◎		○	
※[2]小腸・大腸疾患（イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻、過敏性腸症候群、憩室炎、大腸癌）	◎	◎	◎	○	○	
※[3]胆嚢・胆管疾患（胆石、胆嚢炎、胆管炎）	◎	◎	◎			
※[4]肝疾患（ウイルス性肝炎、急性・ 慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害）	◎	◎	◎		○	
※[5]膵臓疾患（急性・慢性膵炎）	○	○	◎		◎	
※[6]横隔膜・腹壁・腹膜疾患（腹膜炎、急性腹症、鼠径ヘルニア）	◎	◎	○	◎	◎	
（8）腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）疾患						
※[1]腎不全（急性・慢性腎不全、透析）	○	○	◎		○	
[2]原発性糸球体疾患（急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群）		○	◎	○	○	
※[3]全身性疾患による腎障害（糖尿病性腎症）	○	◎	◎			
※[4]泌尿器科的腎・尿路疾患（尿路結石、尿路感染症、過活動膀胱）	◎	◎	○		◎	◎
（9）妊娠分娩と生殖器疾患						
[1]妊娠分娩（正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、産褥）						◎
※[2]妊婦・授乳婦・褥婦のケア（妊婦・授乳婦への投薬、乳腺炎）	○	○				◎
※[3]女性生殖器及びその関連疾患（月経異常《無月経を含む》、不正性器出血、更年期障害、外陰・膣・骨盤内感染症、骨盤内腫瘍、乳腺腫瘍）	○	○				◎
※[4]男性生殖器疾患（前立腺疾患、勃起障害）	○	○				◎

	総合診療専門研修Ⅰ（診療所/中小病院）	総合診療専門研修Ⅱ（病院総合診療部門）	内科	小児科	救急科	他の領域別研修
(10) 内分泌・栄養・代謝系疾患						
[1]視床下部・下垂体疾患（下垂体機能障害）			◎			
※[2]甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症）	◎	◎	◎			
[3]副腎不全			◎			
※[4]糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）	◎	◎	◎			
※[5]脂質異常症	◎	◎	◎			
※[6]蛋白及び核酸代謝異常（高尿酸血症）	◎	◎	◎			
(11) 眼・視覚系疾患						
[1]屈折異常（近視、遠視、乱視）	○					◎
※[2]角結膜炎（アレルギー性結膜炎）	◎	○				◎
[3]白内障	◎	○				◎
[4]緑内障	○	○			◎	◎
[5]糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化						◎
(12) 耳鼻・咽喉・口腔系疾患						
※[1]中耳炎	◎	○		◎		◎
※[2]急性・慢性副鼻腔炎	◎	○				◎
※[3]アレルギー性鼻炎	◎	○		◎		◎
※[4]咽頭炎（扁桃炎、扁桃周囲膿瘍）	◎	○		◎		◎
[5]外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物	○	○		○	◎	◎
(13) 精神・神経系疾患						
[1]症状精神病	○	○			◎	◎
※[2]認知症（アルツハイマー型、血管型）	◎	◎	○			◎
※[3]依存症（アルコール依存、ニコチン依存）	◎	◎				◎
※[4]うつ病	◎	◎				◎
[5]統合失調症	○	○				◎
※[6]不安障害（パニック障害）	◎	◎			◎	◎
※[7]身体症状症（身体表現性障害）、適応障害	◎	◎				◎
※[8]不眠症	◎	◎				◎
(14) 感染症						
※[1]ウイルス感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎、ＨＩＶ）	◎	◎	○	◎	○	
※[2]細菌感染症(ブドウ球菌、ＭＲＳＡ、Ａ群レンサ球菌、クラミジア)	◎	◎		○	○	
[3]結核	○	○	◎			
[4]真菌感染症	◎	○		○		◎
[5]性感染症	○	○				◎
[6]寄生虫疾患		○	◎	○		
(15) 免疫・アレルギー疾患						
※[1]膠原病とその合併症（関節リウマチ、ＳＬＥ、リウマチ性多発筋痛症、シェーグレン症候群）	◎	◎	◎			
[2]アレルギー疾患	○	○	◎	◎		
※[3]アナフィラキシー	○	○	◎	◎	◎	
(16) 物理・化学的因子による疾患						
※[1]中毒（アルコール、薬物）		◎	◎		◎	
[2]環境要因による疾患（熱中症、寒冷による障害）	○	◎	◎		◎	
※[3]熱傷	◎	○			◎	◎
(17) 小児疾患						
[1]小児けいれん性疾患				◎	◎	
※[2]小児ウイルス感染症（麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ、ＲＳ、ロタ）	◎			◎	○	
※[3]小児細菌感染症	◎			◎	○	
※[4]小児喘息	◎			◎	◎	
[5]先天性心疾患				◎		
[6]発達障害（自閉症スペクトラム、学習障害、ダウン症、精神遅滞）	○			◎	◎	
[7]小児虐待の評価	○			◎	◎	
(18) 加齢と老化						
※[1]高齢者総合機能評価	◎	◎				
※[2]老年症候群（誤嚥、転倒、失禁、褥瘡）	◎	◎				
(19) 悪性腫瘍						
※[1]維持治療期の悪性腫瘍	◎	◎	◎			◎
※[2]緩和ケア	◎	◎	◎			

Ⅳ 医療・介護の連携活動 以下に示す診療を適切に実施することができる。	総合診療専門研修Ⅰ（診療所/中小病院）	総合診療専門研修Ⅱ（病院総合診療部門）	内科	小児科	救急科	他の領域別研修
(1) 介護認定審査に必要な主治医意見書の作成	◎	◎				
(2) 各種の居宅介護サービスおよび施設介護サービスについて、患者・家族に説明し、その適応を判断	◎	○				
(3) ケアカンファレンスにおいて、必要な場合には進行役を担い、医師の立場から適切にアドバイスを提供	◎	○				
(4) グループホーム、老健施設、特別養護老人ホームなどの施設入居者の日常的な健康管理を実施	◎	○				
(5) 施設入居者の急性期の対応と入院適応の判断を、医療機関と連携して実施	◎	○				

Ⅴ 保健事業・予防医療 以下に示すケアや活動を適切に提供・実践することができる。	総合診療専門研修Ⅰ（診療所/中小病院）	総合診療専門研修Ⅱ（病院総合診療部門）	内科	小児科	救急科	他の領域別研修
(1) 特定健康診査の事後指導	◎	○				
(2) 特定保健指導への協力	◎	○				
(3) 各種がん検診での要精査者に対する説明と指導	◎	◎				
(4) 保育所、幼稚園、小学校、中学校において、健診や教育などの保健活動に協力	◎	○				
(5) 産業保健活動に協力	◎	○				
(6) 健康教室（高血圧教室・糖尿病教室など）の企画・運営に協力	◎	○				

Ⅵ 在宅医療 以下に示すケアを適切に提供・実践することができる。	総合診療専門研修Ⅰ（診療所/中小病院）	総合診療専門研修Ⅱ（病院総合診療部門）	内科	小児科	救急科	他の領域別研修
(1) 主治医として在宅医療を10例以上経験（看取りの症例を含むことが望ましい）	◎	○		○		

11. 研修施設の概要

研修連携施設	高知大学医学部附属病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（大学病院の総合診療部門の責任者） ● 内科指導医 34 名、小児科専門 19 名、大学病院の総合診療部門の指導医 3 名、形成外科専門 4 名、整形外科専門 21 名、産婦人科専門医 11 名、精神科専門 12 名、皮膚科専門 15 名、眼科専門医 7 名、耳鼻咽喉科専門医 10 名
病床数・患者数	● 病院病床数 600 床（一般 570、精神 30） ● 1 日平均外来患者数 1,029 人（うち内科 271 人、小児科 62 人、総合診療部 12 人） ● 年間救急搬送対応 2,450 件（うち心肺停止 35 件）
施設の特徴	● 特定機能病院として領域別専門診療科のほか、救急部、総合診療部を擁し、高知県の教育、診療、研究の拠点としての役割を担っている ● 総合診療部では漢方外来を併設し、総合診療における漢方診療の基本を修得することができる ● 基本 19 領域すべての研修プログラムを運用しており、分野横断的な研修が可能である ● 医学生や研修医など後輩への指導経験を積むことで専攻医としてのスキルアップを図ることが可能である ● 西日本屈指の次世代医療創造センターを有し医師主導型臨床研究の拠点として研究支援を担っており、若手研究者への研修も実施している ● 附属図書館、インターネット環境、電子ジャーナルや医療系データベースへのアクセス、スキルスラボなど研究・研修のためのインフラが充実している

研修連携施設	高知県立あき総合病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 2 名 ● 内科専門医 4 名、小児科専門医 2 名、外科専門医 1 名、整形外科専門医 2 名、精神科専門医 1 名、産婦人科専門医 3 名、皮膚科専門医 1 名、泌尿器科専門医 1 名、耳鼻咽喉科専門医 1 名
病床数・患者数	● 病院病床数　270 床 ● 1 日平均入院患者数は、内科 41.1 人、循環器内科 15.2 人、小児科 1.3 人、外科 23.4 人、整形外科 34.9 人、精神科 79.8 人、産婦人科 3.8 人、皮膚科 0.7 人、泌尿器科 0.9 人、眼科 1.5 人、耳鼻咽喉科 1.0 人 ● 1 日平均外来患者数は、内科 73.9 人、循環器内科 34.5 人、小児科 30.9 人、外科 21.8 人、整形外科 59.3 人、精神科 37.2 人、産婦人科 30.9 人、皮膚科 31.2 人、泌尿器科 33.1 人、眼科 25.6 人、耳鼻咽喉科 19.4 人 ● 年間救急搬送対応件数　1,708 件
施設の特徴	● 当院は、高知県東部地域の方々のこころとからだの健康を支えていくという

	理念の下、精神科病院の旧芸陽病院と一般科病院の旧安芸病院が 2012 年 4 月に統合してできた病院で、2014 年 4 月には建物も新しくなった。 ● エイズ拠点病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院として指定されているほか、2018 年 3 月に地域がん診療病院の指定を受け、安芸保健医療圏のがん診療の中核としての役割も担っている。 ● 当院の一般科は急性期医療に特化し地域の基幹病院として救急医療に積極的に取り組んでおり、安芸医療圏全体の救急搬送件数に占める当院のシェアは過半数を占めている。 ● 精神科では県内の重度精神障害者受入れ施設として、民間では処遇困難な措置患者等重症患者の治療にあたっている。また、認知症疾患センターを備え、圏域内の高齢化する人口を背景とし今後増加する認知症患者に対応するとともに、統合のメリットを活かした身体合併症の患者さんを多く受け入れている。

研修連携施設	県立幡多けんみん病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 2 名（プライマリ・ケア認定医 1 名） ● 内科指導医 3 名（総合内科専門医 1 名）、小児科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、各指導医 1 名
病床数・患者数	● 病床数 322 床 ● 1 日平均外来患者数 449.1 人 ● 年間新入院患者数 5,204 人 ● 年間救急車搬入件数 2,620 件
施設の特徴	● 高知県の幡多地域は日本最後の清流として知られる四万十川や、台風の時におなじみの四国最南端の足摺岬、サーフィンのメッカである入野海岸や平野海岸、日本有数のダイビングスポットである柏島や沖の島などの素晴らしい自然を満喫できる地域である。また新鮮な魚介類や地域で育まれた食材による、恵まれた食生活を楽しむこともできる。 ● 幡多けんみん病院は四国の西南部に在住する約 10 万人の方々の健康を支える医療機関である。周辺の医療・介護・福祉施設と協力しながら可能な限り地域内で完結する医療を目指しており、一次～三次までの幅広い症例に対応できる能力を身につけることができる。また年間救急患者数は約 13,000 件、うち救急車での搬送は約 2,600 件と多くの救急症例を経験することも可能である。加えて、指導医と連携をとりながら、地域の医療機関や離島医療機関での診療を経験することも可能である。 ● 豊かな自然のおかげか、患者さんやそのご家族、そしてスタッフを初めとした地域の方々は穏やかで、ほのぼのとした環境の中、色々な人々と触れ合いながら、充実した研修を行なうことができる

研修連携施設	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
医師・専門医数	● 常勤医師数 153 名、専攻医 13 名、臨床研修医 27 名 ● 総合診療専門研修特任指導医 3 名（プライマリ・ケア認定医 3 名） ● 総合内科専門医 11 名、日本救急医学会専門医 6 名、日本小児科学会専門医 10 名、日本外科学会専門医 20 名、日本整形外科学会専門医 8 名、日本産婦人科学会専門医 10 名、日本精神神経学会専門医 2 名、日本皮膚科学会専門医 1 名、日本眼科学会専門医 3 名、日本耳鼻咽喉科学会専門医 3 名、日本医学放射線学会専門医 6 名
病床数・患者数	● 病院病床数 620 床 （一般病床 548 床、結核病床 20 床、感染症病床:1 類 2 床、2 類 6 床、精神 44 床、ICU12 床、HCU20 床、NICU12 床、MFICU3 床、SCU18 床） ● 1 日平均外来患者数 744 人、1 日平均入院患者数 409 人 ● 年間救急搬送対応 3,483 件、年間ドクヘリ出動件数 243 件 ● 第 1・2 種感染症指定医療機関、基幹災害拠点病院、地域医療支援病院、地域がん連携拠点病院、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、臨床研修指定病院等の指定あり
施設の特徴	● 総合診療科、救命救急センター、総合周産期母子医療センター（小児科、産婦人科）、内科（血液内科、糖尿病・内分泌科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科・膠原病科など）、外科、整形外科、児童精神科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科など（全 40 診療科）を標榜し、県内の基幹的な病院として主に急性期を担ってきた ● 総合診療科や救命救急センターでは幅広い分野にわたる患者さんに対応し、高知市内の高次医療機関や県内の国保関連施設やへき地医療機関などとも連携して地域のニーズに応えている。 ● 当院はへき地医療拠点病院の指定を受け、年間 300 日以上のへき地医療支援実績（へき地診療所代診や無医地区巡回診療など）がある。

研修連携施設	社会医療法人近森会近森病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 2 名（臨床研修病院で総合診療を行う医師） ● 内科指導医 29 名（総合内科専門医 23 名）、救急科専門医 6 名、整形外科専門医 10 名
病床数・患者数	● 病院病床数　512 床　（うち　一般　452 床、精神　60 床） ● 1 日平均外来患者数　485 人　（うち　総合心療センター76 人） ● 総合診療科・内科　外来患者数　6,123 名/月 ● ICU 病棟　18 床、救命救急病棟　18 床、SCU 病棟　15 床、HCU 病棟 28 床、内科　約 250 床、精神科病床　60 床 ● 整形外科手術件数　約 2,365 件/年

施設の特徴	● 質の高い総合診療医育成のために、総合診療医だけでなく、内科系・外科系の各専門医が一人の総合診療医を協力して育成していく体制をとっている ● 総合診療科と救急科の合体運営による ER 型の救命救急センター（救急搬入件数:年間約 6,500 台以上、予約・紹介の無い walk in の患者:年間約 25,000 人）を持ち、1 次から 3 次までの多彩なプライマリ・新患・救急疾患を経験でき、救急に強い総合診療の能力を十分に身につけることができる ● 循環器、消化器、呼吸器、内分泌・代謝、血液、腎臓、膠原病、感染症、神経すべての内科専門医が揃っており、総合内科体制のもとで内科診療の肉付けをしっかり付け、老年医学も含め横断的な領域の獲得を目指している ● 西洋医学ではカバーできない症状や疾患に対して、漢方医学の理論に基づいた治療をおこなっている ● 病歴だけでなく身体診察や検査にも言及した症例を選んで、*診断推論を用いた*カンファレンスを週 1 回実施している ● 整形外科は日本で初の AOTrauma Fellowship Host Center として認定されており、県下で最も骨折外傷患者が集まる施設である。多数の整形外科医の指導のもと、レベルの高い整形内科的な研修が可能である ● 機能分化を推進しており、多数のメディカルスタッフとともにチーム医療を展開しており、「医師は医師にしかできないことをする」ということをモットーとし、雑用をできる限り廃し、多くの症例を経験することができるような体制を整えている

研修連携施設	日本赤十字社高知県支部　高知赤十字病院
医師・専門医数	● 総合内科専門医 9 名、認定内科医 11 名、救急専門医 13 名
病床数・患者数	● 病院病床数　一般 402 床 ● 1 日平均外来患者数 452.5 人（内科 147.0 人）【2021 年度実績】 ● 年間救急搬送 6,401 件【2021 年度実績】
施設の特徴	● 高知県の中央医療圏に位置し救命救急センターを有する急性期病院 ● 地域医療支援病院であり、「病病連携」「病診連携」を推進し地域医療の充実を図っている ● 災害拠点病院として赤十字の使命である災害救護にも積極的に取り組んでいる ● 高知県がん診療連携推進病院

研修連携施設	独立行政法人国立病院機構高知病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（プライマリ・ケア認定医） ● 内科指導医 9 名（総合内科専門医 6 名）、小児科専門医 4 名、救急専門医 1 名
病床数・患者数	● 病院病床数 424 床 ● 1 日平均外来患者数 479 人（うち総合診療科 154 人） ● 年間救急搬送対応 1362 件
施設の特徴	● 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、呼吸器外科、消化器外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科を標榜し、地域の中核的な病院として、急性期及び回復期医療を担っている。 ● 国立病院機構の一員として結核や重症心身障害児（者）医療などの分野で政策医療を担うとともに、EBM 構築のための大規模臨床試験にも積極的に参加している ● 内科、救急外来では幅広い初診患者に対応し、高知市内の救急救命センターとも連携して地域のニーズに応えている ● 災害拠点病院、高知 DMAT 指定病院、高知県がん診療連携推進病院等の指定を受けている ● 周辺のクリニック、老人保健施設、グループホーム等とも連携し、定期的なカンファレンスやフォーラムを行ない、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる ● 臨床研修制度における基幹型病院として多くの研修医を受け入れるとともに、看護学校を併設して看護師の育成にも取り組んでいる。更に、多くの大学や専門学校の学外実習施設として学生の教育にも貢献している。 ● 国立病院機構のネットワークにおいて長期的なキャリアアップが可能であり、機構本部が主催する若手医師対象の定期的な宿泊研修や米国留学制度への参加が可能である

研修連携施設	社会医療法人仁生会細木病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（臨床研修病院にて総合診療を行う医師 1 名） ● 内科専門医 11 名、小児科専門医 4 名、整形外科専門医　4 名
病床数・患者数	● 病院病床数　456 床 ● 1 日平均外来患者数　427 人 ● 年間救急搬送対応　677 件 ● 訪問診療　月 20 件

施設の特徴	● 高知城の西約 1 キロの高知市中心街に位置する標榜科目 28 科目、病床数 456 床のケアミックス型病院 ● 地域の中心的病院として、急性期から回復期、慢性期、在宅医療、精神医療、緩和ケア、介護サービスまで、様々な病態に対応したトータルヘルスケアを実践している ● 総合診療科を中心に、幅広い診療科で様々なコモンデジィーズに対応するとともに、必要に応じ、各科の専門医と連携を図っている ● 院内の在宅部門で広範な在宅サービスを展開しており、医療と介護の連携システムを構築している ● 院内のほそぎ入退院サポートセンターを窓口に、高次機能病院や地域の中小病院、診療所等の医療施設、老人保健施設や特養、グループホーム等の介護施設との連携を強化し、地域包括ケアの構築を積極的に進めている ● 基幹型臨床研修病院として研修医の養成にも力を入れている ● 高知大学医学部関連教育病院として医学生の実習を行うとともに、薬剤師、看護師、リハスタッフ等様々な職種の実習生を年間約 500 名受入れている ● 高知県へき地医療拠点病院として、へき地診療所への定期的な医師派遣をおこなっている ● グループ内の病院（三愛病院:慢性期病院）と 2 つの診療所、サービス付高齢者住宅、養護老人ホーム、障害者支援施設等が揃っており、医療・介護・福祉の複合体を構築している

研修連携施設	いずみの病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 2 名（大学病院に協力して地域において総合診療を実践している医師 2 名） ● 内科認定医 3 名、消化器内視鏡専門医 3 名、外科専門医 3 名、脳神経外科専門医 3 名、整形外科専門医 2 名、泌尿器科専門医 1 名、麻酔科専門医 1 名、放射線科専門医 1 名、肝臓専門医 1 名、循環器専門医 1 名、消化器病専門医 1 名、消化器外科専門医 1 名、心臓血管外科専門医 1 名、神経内科専門医 1 名
病床数・患者数	● 病院病床数 238 床 ● 1 日平均外来者数 263 名（うち総合診療科（内科）82 名） ● 年間救急搬送対応 437 件
施設の特徴	● 内科（総合内科）循環器科、神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科を標榜し、人工透析もおこなっており、急性期、回復期、緩和ケアなどがあり、地域に密着した医療を担っている

	● 幅広い患者に対応しており、総合診療を基本に科によっては高度な専門医療までおこなっている。多職種連携を重視しオールいずみの病院で患者･家族に対応している。予防を重視した取り組みもおこなっている ● 指導医は県内の各診療所での地域医療の経験も豊富で、総合診療を実践しており、すばらしい指導が受けられる

研修連携施設	JA 高知病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名 ● 総合内科専門医 4 名、認定内科医 5 名、呼吸器内科専門医 3 名、循環器専門医 1 名、肝臓専門医 1 名、消化器病専門医 1 名、アレルギー学会専門医 1 名、消化器内視鏡専門医 1 名、小児科専門医 1 名、救急科専門医 1 名、産婦人科専門医 3 名、透析専門医 1 名、外科専門医 1 名、集中治療専門医 1 名、耳鼻咽喉科専門医 2 名、脳神経外科専門医 1 名、泌尿器科学会専門医 1 名、整形外科学会専門医 1 名
病床数・患者数	● 病院病床数 178 床（うち地域包括ケア病床 58 床） ● １日平均外来患者数 294.6 人 ● 年間救急搬送対応数 644 人 ● 地域連携紹介件数 1,895 人
施設の特徴	● 消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、内科、外科、整形外科、産婦人科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、小児科、眼科、形成外科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、泌尿器科を有し、地域の中核的な病院として２次救急を主体に急性期、回復期を担っている ● 2014 年 10 月 1 日より在宅復帰支援のための地域包括ケア病床を設置、また併設の介護老人保健施設、健診センターと連携し地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる

研修連携施設	土佐市立土佐市民病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 4 名（地域包括医療・ケア認定医 2 名、臨床研修病院にて総合診療を行う医師 2 名） ● 日本内科学会総合内科専門医 4 名、日本消化器病学会専門医 5 名、日本循環器学会循環器専門医 1 名、日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医 1 名、日本外科学会外科専門医 1 名、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 2 名、日本整形外科学会整形外科専門医 2 名、日本皮膚科学会皮膚科専門医 1 名、日本肝臓学会専門医 1 名、日本消化器内視鏡学会専門医 2 名、日本超音波学会専門医 1 名、日本内分泌学会代謝専門医 1 名
病床数・患者数	● 病院病床数 150 床（うち地域包括ケア病棟 54 床） ● １日平均外来患者数 492.32 人 ● 年間救急搬送対応 950 件

	● 地域連携紹介件数 1,677 件
施設の特徴	● 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、神経・精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、 放射線科、麻酔科、救急科、腎臓代謝内科、、乳腺・内分泌外科、人工透析内科、内視鏡外科、血液内科、感染症内科、糖尿病内科、小児心療科、の 30 診療科目を有し、地域の中核的な病院として２次救急を主体に急性期、回復期を担っている ● 周辺の医療機関と地域医療連携を密にし、毎月症例検討会を開催するとともに、行政や保健機関、福祉施設とも連携し地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる ● 透析センターを設置し、慢性腎不全、尿毒症に対する人工透析をおこなっている ● 2014 年 7 月 1 日より在宅復帰支援のための地域包括ケア病棟を設置。医師の指示のもとコメディカルが連携、協働するチーム医療をおこなっている

研修連携施設	高知医療生活協同組合高知生協病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 3 名（プライマリ・ケア認定医 3 名） ● 日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医・認定脊椎脊髄病医・認定リハビリテーション医 1 名、日本外科学会専門医 1 名、日本医師会認定産業医 2 名、日本産業衛生学会専門医 1 名、社会医学系専門医協会専門医・指導医 1 名
病床数・患者数	● 病院病床数 114 床(一般 52 床、地域包括ケア病床 62 床) ● 1 日平均外来患者数 150 人 ● 総合診療科　年間総入院患者数 1, 160 人 ● 年間救急搬送対応件数 303 人
施設の特徴	● 地域のみなさまとともに「いつでも誰でも、安心してかかれる」病院として、温かく心の通う地域医療を提供している。また、内科のほか、外科、整形外科の専門医療を提供しており、初期・二次救急診療などもおこなっている ● 総合診療科においては、日本プライマリ・ケア連合学会認定の家庭医療専門研修Ⅰ・Ⅱを取得しており、家庭医療学を特徴づける能力、特に患者中心の医療、家族志向型ケア、包括的アプローチ、多職種連携チーム医療に強い医師養成に取り組んできた。また、臨床研修、専門研修、医学生の臨床実習に積極的に取り組んでいる。外来診療では非選択的に生物・心理・社会的アプローチをおこない幅広い健康問題に対応している。入院診療で

	は総合診療病棟で各科と協力しながら複数の疾患をもった方にも主治医として関わる。 ● 在宅医療に力を入れており在宅療養センターを中心に地域のさまざまなリソース（行政、介護施設、地域包括支援センターなど）と協力して地域包括ケアを展開している ● 医療生協の組合員がおこなっている地域の中でのこども食堂、健康班会、食事会、サロン、多世代カフェなどに医療従事者として関わり、地域の中での重要なソーシャル・キャピタルとしての役割が果たせるよう支援している ● 高知市からの委託を受け高知市西部地域における住民主体の健康づくり支援を行っている。（具体的には旭イオン店での男のファッションショー、高齢一人暮らし世帯への支援など）

研修連携施設	医療法人臼井会田野病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（医師会から推薦された医師 1 名） ● 消化器病学会専門医 2 名、脳神経外科学会専門医 1 名、日本外科学会専門医 2 名、日本外科学会指導医 1 名、日本小児科学会専門医 2 名、日本小児科学会指導医 1 名、日本認知症学会専門医・指導医 1 名、日本小児神経学会専門医 1 名、日本てんかん学会専門医 1 名、救急科専門医 1 名、認知症予防学会専門医 1 名、三学会構成心臓血管外科専門医 1 名 ● 消化器内視鏡学会専門医 1 名、総合内科学会専門医 1 名
病床数・患者数	● 病院病床数 84 床 ● １日平均外来患者数 153.6 名 ● 年間救急搬送対応 484 件 ● 訪問診療　月 97.8 件
施設の特徴	● 外科、内科、総合診療科、循環器内科、消化器内科、消化器外科、肛門外科、小児科、小児神経科、整形外科、皮膚科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリ外来、睡眠時無呼吸外来、脳神経外科、認知症（ものわすれ）外来、心臓血管外科を標榜し、東部地域の中核的病院として、急性期、回復期を担ってきた ● 周辺のクリニック、老人保健施設、グループホーム等とも連携し、介護老人福祉施設の嘱託医、産業医として定期的なカンファレンスをおこなうとともに、在宅医療、在宅・施設看取りの対応などおこない、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる

研修連携施設	医療法人公世会野市中央病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名(プライマリ・ケア認定医) ● 内科認定医 3 名、外科専門医 3 名、小児科専門医 1 名、脳外科専門医 1 名、整形外科専門医 1 名、消化器病専門医 3 名、消化器内視鏡専門医 1 名、肝臓専門医 2 名
病床数・患者数	● 病床数 171 床(一般急性期病床 46 床、地域包括ケア病床 45 床、医療療養病床 50 床、回復期リハビリテーション病床 30 床) ● 1 日平均外来患者数　142 人 ● 月間平均入院患者数　79 人 ● 年間救急搬送対応　296 件
施設の特徴	● 高知県東部にあります 171 床のケアミックス型中規模病院である。地域に根付いた診療を心がけており、当院で働く医師には総合診療医として幅広い疾患に対しての知識が求められる。 ● 基幹病院とも連携がとれており、より高次医療が必要な場合には相談や紹介がしやすい環境にある ● 在宅復帰に向けてのリハビリテーションにも積極的に取り組んでおり、高知県でも有数のレベルの高いリハビリを提供している ● 周辺の診療所や施設とも密に連携を取っており、また介護老人福祉施設も併設しているため、大学や診療所のみでは経験できない当院ならではの地域医療・高齢者医療を勉強することができる

研修連携施設	本山町立国民健康保険嶺北中央病院
医師・専門医数	● 総合診療研修指導医 2 名（プライマリ・ケア認定医 2 名、うち 1 名は他のプログラムの指導医)） ● 常勤医師　内科 6 人、外科 1 人、整形外科 1 人
病床数・患者数	● 病院病床数　99 床 ● 1 日入院患者数 73 人（内科 58 人） ● 1 日外来患者数 176 人（内科 102 人） ● 救急車収容患者数 420 人、救急患者数 1452 人 ● 訪問診療　月 78 件
施設の特徴	● 町内唯一の医療機関として、内科、外科、整形外科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、脳神経外科を標榜し、地域の中核病院として、急性期、回復期、慢性期を担ってきた ● 内科、救急では、幅広い初診患者に対応し、高知市内の高次医療機関と連携して地域のニーズに応えている ● 周辺のクリニック、病院、介護施設と連携して、また行政と協力して、検診、住民教育を含め、在宅医療、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる

研修連携施設	独立行政法人地域医療機能推進機構高知西病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 2 名（プライマリ・ケア認定医 2 名、うち 1 名は総合内科専門医）
病床数・患者数	● 病院病床数 148 床 ● 一日平均外来患者数　約 200 人（内科 約 80 人） ● 訪問診療　月 20 件
施設の特徴	● 内科、外科、消化器科、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科、血液透析科を標榜し、地域医療を中心とする中規模病院である ● 急性期疾患のみならず回復期リハビリテーション、透析医療、健診センターを 3 つの大きな柱としている ● 内科は一般内科として幅広い疾患を持つ患者を診療しており、他科との垣根も低く、連携しながら診察・診療している

研修連携施設	いの町立国民健康保険仁淀病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（地域包括医療・ケア認定医 1 名）
病床数・患者数	● 病院病床数 100 床 ● 1 日平均外来患者数　167 人 ● 年間救急搬送対応 276 件 ● 訪問診療　月 3 件
施設の特徴	● 内科／循環器内科／消化器内科／外科／消化器外科／肛門外科／整形外科、 小児科／皮膚科／泌尿器科／婦人科／眼科／耳鼻いんこう科／放射線科を標榜し、救急告示病院で二次救急を担当し、地域の中核病院として急性期、回復期、慢性期の医療を担い、また災害拠点病院に指定されており日本 DMAT 隊を有し災害医療も担う。さらに健診センターを併設し、特定健診やがん検診など健康増進、疾病予防にも取り組んでいる ● 介護老人保健施設、居宅介護支援事業所を併設し、デイケアなど高齢者の介護サービスも展開している ● 訪問看護ステーションも併設し在宅医療にも取り組んでいる。

研修連携施設	佐川町立高北国民健康保険病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 3 名（大学病院に協力して地域において総合診療を実践している医師 3 名、うち 1 名は他のプログラムの指導医） ● 医師数 8 名（内科 7 名、整形外科 1 名） ● 整形外科専門医 1 名
病床数・患者数	● 病床数　98 床（一般病床 56 床、医療療養病床 42 床） ● 1 日平均外来患者数 210.0 人（うち内科 122.0 人） ● 年間救急搬送対応 269 件 ● 訪問診療 月 40.3 件

施設の特徴	● 内科医は全員総合診療的医療を実践している ● 慢性疾患の管理から救急告示病院としての救急疾患まで幅広く対応している ● 内科カンファレンスで症例検討をおこなっている ● 老人保健施設、通所リハ、通所介護などが併設されており、また訪問診療など在宅医療も行い、地域包括医療・ケアが実践できる

研修連携施設	梼原町立国民健康保険梼原病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（プライマリ・ケア認定医 1 名）
病床数・患者数	● 病院病床数　30 床 ● 1 日平均外来患者数　101.5 人【2021 年度実績】 ● 年間救急搬送対応　52 件【2021 年度実績】
施設の特徴	● 内科医師は皆、総合診療医として小児から高齢者まで診療科目を問わず幅広く診療にあたっている ● 救急車受入れを断ることはなく、時には救急隊の要請に応じ救急車に同乗して現場まで出動し初期治療にあたっている ● 町内唯一の病院として急性期から回復期を担い、地域住民のニーズに応えている ● 保健福祉課が一つ屋根の下にあり、週 1 回のケアプラン会のみならず頻回にケース会議を開催し、在宅看取りも含めて住み慣れた地域で最期まで暮らしつづけることができるよう、多職種連携による地域包括ケアシステムに積極的に取り組んでいる ● 介護老人福祉施設、障害者支援施設とも連携し、施設看取りにも積極的に対応している ● 町内の各地域に出向いての病院職員と住民との座談会を精力的に行い、信頼されるかかりつけ医療機関として利用していただけるよう取り組んでいる

研修連携施設	医療法人五月会須崎くろしお病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 2 名（臨床研修病院にて総合診療を行う医師） ● 循環器専門医 2 名、消化器病専門医 1 名、外科専門医 3 名
病床数・患者数	● 病院病床数 158 床(一般病床 106 床＜地域包括ケア病床 11 床＞、緩和ケア 10 床、回復期リハビリ 42 床) ● 1 日平均外来患者数 230 人 ● 年間救急搬送対応 668 件 ● 訪問診療月 25 件

施設の特徴	● 内科・外科・整形外科・脳神経外科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・皮膚科・循環器内科・消化器内科・消化器外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科を標榜し、地域の中核的な病院として、急性期、回復期を担っている ● 内科・外科では幅広い初診患者に対応し、高知市内の高次医療機関とも連携して地域のニーズに応えている ● 近隣のクリニック、介護老人保健施設、グループホーム等とも連携し、定期的なカンファレンスをおこなうとともに、在宅医療、在宅・施設看取りの対応などおこない、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる

研修連携施設	くぼかわ病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 2 名（臨床研修病院にて総合診療を行う医師） ● 総合内科専門医 2 名、内科認定医 2 名、外科専門医 1 名 ● 総合診療科 1 名　脳神経外科 1 名　内科 4 名　外科 1 名　麻酔科 1 名　整形外科 4 名　泌尿器科 1 名　放射線科 1 名　皮膚科 1 名
病床数・患者数	● 病院病床数 172 床 ● 1 日平均外来数 235 名 ● 年間救急搬送対応 478 件 ● 訪問診療　月 39 件
施設の特徴	● 高幡地域の中核病院として、急性期から慢性期までを担っている ● また、介護老人保健施設、訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所を併設しており、在宅へとつながる医療を提供できる体制を構築している ● 幅広い初診患者に対応し、高知市内の高次医療機関とも連携して地域のニーズに応えている

研修連携施設	四万十市国民健康保険四万十市立市民病院
医師・専門医数	● 特任指導医 2 名（家庭医療専門医 1 名、プライマリ・ケア認定医 1 名） ● 総合内科専門医 2 名
病床数・患者数	● 病院病床数 55 床（許可病床数 99 床のうち、44 床休床中） ● 一日平均外来患者数 154.4 人（うち内科 87.8 人） ● 年間救急搬送対応 306 件
施設の特徴	● 内科、呼吸器内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科を標榜し、幅広い疾患の急性期から回復期まで対応している ● 内科では糖尿病や慢性腎臓病など生活に密着した疾患の予防から治療までの診療体制の充実を図りながら、人工透析患者約 50 名の診療もおこなっている

	● 外科、整形外科は市内で唯一緊急手術に対応できる体制を整えている

研修連携施設	大月町国民健康保険大月病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（家庭医療専門医 1 名） ● 他、内科医 2 名
病床数・患者数	● 一般病床　25 床 ● 1 日平均外来患者数 89 名 ● 在宅訪問診療　月 40 件 ● 施設往診　特別養護老人ホーム 50 床、グループホーム 4 ヵ所
施設の特徴	● 訪問診療、地域ケア会議、予防接種、検診業務、ターミナルケア、保育・学校検診など、地域包括ケアの実践、離島診療など地域のニーズに応えられるような地域医療を目指している ● 救急告示病院として 1.5 次救急対応も積極的におこなっている

研修連携施設	医療法人聖真会渭南病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（大学病院に協力して地域において総合診療を実践している医師 1 名） ● 外科専門医 2 名、整形外科専門医 1 名（内科・麻酔科医（医学博士）3 名）
病床数・患者数	● 病院病床数 105 床（急性期 4（DPC）20、地域包括ケア 1　30、医療療養Ⅰ在宅機能強化型 55） ● 1 日平均外来患者数 162 名 ● 年間救急搬送対応 822 件 ● 訪問診療　月 184 件
施設の特徴	● 1923 年の開業以来、救急から在宅まで地域の中核を担っている ● 1986 年に高知医科大学附属病院（現高知大学医学部）の関連病院第 1 号となり、現在 11 科、月のべ 41 名（常勤換算約 3.5）の医師派遣を受けている ● 2012 年度在宅医療連携拠点として全国 105 か所（高知県では唯一）に採択され、在宅医療連携室を拠点として地域の医療、介護事業者、施設、行政等との連携を深め地域包括ケアの推進に取り組んでいる ● 病院のほか、通所リハビリテーション事業所、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、サービス付き高齢者向け住宅（34 室）、訪問看護ステーションを運営している ● 2020 年に土佐清水市内の 3 病院 1 診療所と地域医療連携推進法人清水令和会を設立し、さらなる地域包括ケアの実現に向けて取り組んでいる

研修連携施設	医療法人長生会大井田病院
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（大学病院に協力して地域において総合診療を実践している医師 1 名）

	● 総合内科専門医 1 名、消化器病専門医 2 名、消化器内視鏡専門医 1 名、救急科専門医 1 名、外科専門医 2 名、中毒専門医 1 名
病床数・患者数	● 病院病床数 50 床 ● 1 日平均外来患者数 125 人 ● 年間救急搬送対応 247 件 ● 訪問診療　月 93 件
施設の特徴	● 市内だけでなく近隣の大月町、三原村、愛媛県の愛南町の医療圏までカバーし、小児から高齢者まで幅広い疾患に対応するなど地域に根ざした医療を展開している ● 健診センターで健康増進と疾病予防にも取り組み、効率的で切れ目のないシステムを構築している ● 併設の訪問看護ステーションと通所リハビリテーションと連携し、患者さんの生活や家族、住んでいる地域を間近で見ながら地域全体の健康を守っていくシステムが構築されている ● 幡多地域医療情報ネットワーク「高知家@ラインはたまるねっと」を利活用し医療情報、介護情報に加えて在宅情報の共有を行い効率で無駄のない医療を目指している

研修連携施設	やまと診療所高知
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（家庭医療専門医） ● 日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医 3 名、認定指導医 2 名 ● 医師数 3 名
病床数・患者数	● 診療所病床数　無床 ● 1 日平均外来患者数　36 名 ● 訪問診療患者数　60 名/月
施設の特徴	● 高知市中心部で女性家庭医 3 人の常勤医による家庭医療を行っています。赤ちゃんからお年寄りまで健診や予防接種・在宅看取りまで幅広く研修できます。法人内外の多職種との連携、学校医の活動も経験できます。

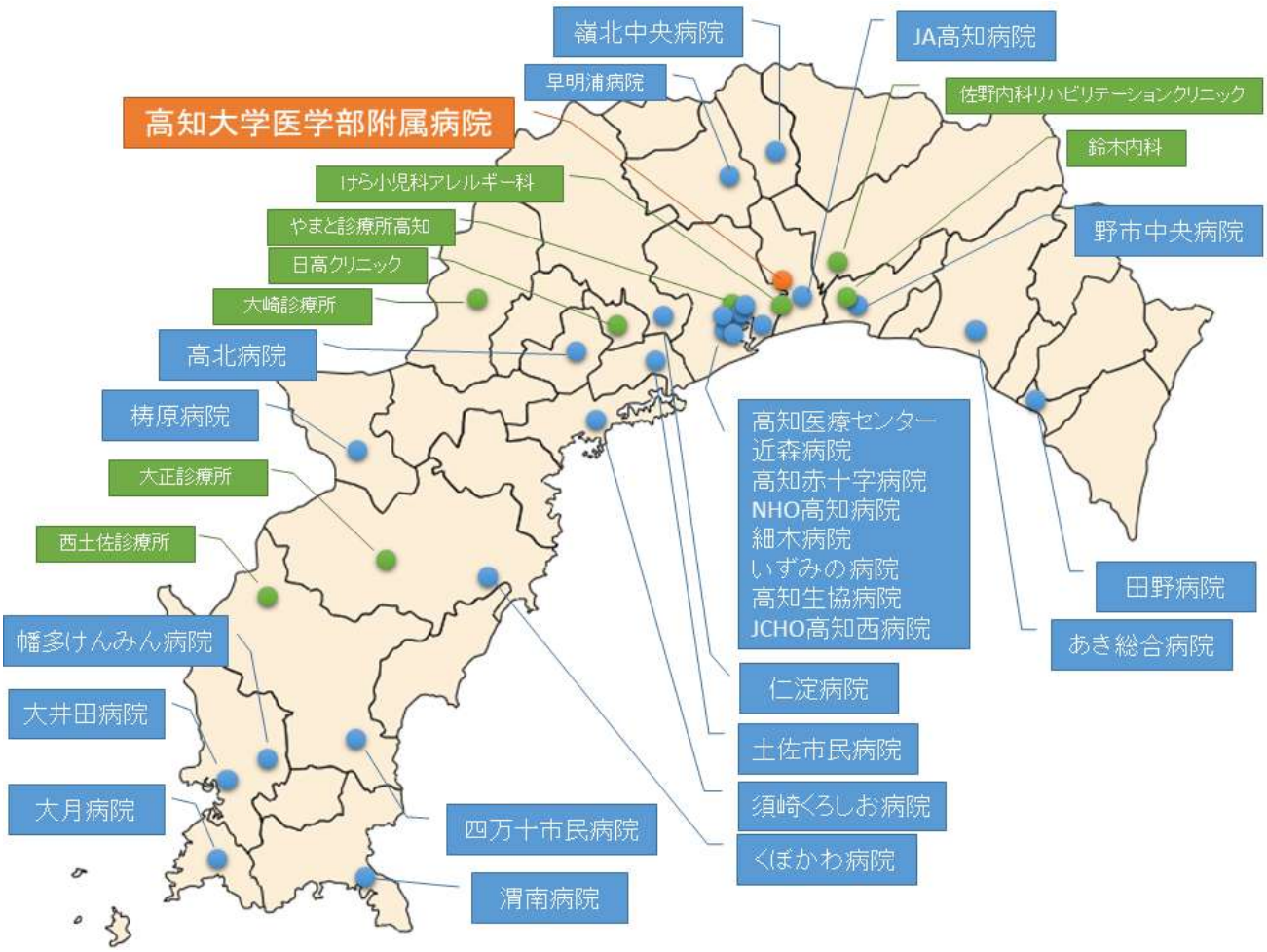
研修連携施設	社会医療法人仁生会日高クリニック
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（医師会から推薦された医師）
病床数・患者数	● 診療所病床数　無床 ● 1 日平均外来患者数　45.5 人
施設の特徴	● 日高村にある社会医療法人仁生会グループの無床診療所である ● 日高村村内唯一の医科医療機関として、村民のかかりつけ医機能を果たしている

	● 通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所、グループホーム、共用型認知症対応型通所介護などの介護施設を併設し、医療と介護の連携を図っている ● 標榜科は、小児科・内科・整形外科で、1996 年の開設以来変わることなく、小児から高齢者まで、地域が必要とする総合診療の実践と高齢者の医療・介護連携を柱として運営している ● 隣接する日下小・中学校や村内の保育園、養護学校の校医活動をおこなっている ● 日高村や保健所の主催する健康教室等の活動にも積極的に協力している

研修連携施設	仁淀川町国民健康保険大崎診療所
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（大学病院に協力して地域において総合診療を実践している医師 1 名）
病床数・患者数	● 診療所病床数　無床 ● 1 日外来患者数 48 人（2021 年度） ● 訪問診療　月 3～6 件（過去 3 年間）
施設の特徴	● 清流仁淀川の上流域にある仁淀川町唯一の公的医療機関 ● 高齢化率 50%以上の超少子高齢化地区で外来の 65%を後期高齢者が占めるが、地域のかかりつけ医として小児の診療もおこなっている ● 介護老人福祉施設 2 施設、グループホーム 1 施設の診療も行うとともに、在宅医療へも対応している ● 近隣の医療機関、高知市内の高次医療機関との病診連携を重視している

研修連携施設	四万十町国民健康保険大正診療所
医師・専門医数	● 内科医 2 名
病床数・患者数	● 診療所病床数　19 床（一般病床 15、介護療養病床 4） ● 1 日平均外来患者数　67.4 名 ● 入院 1 日平均 9.2 名 ● 救急対応件数　81 件（R03 年度実績）
施設の特徴	● 標榜科・・内科、リハビリテーション科 ● 旧大正町地域の唯一の医科医療機関として外来、入院、在宅、救急、健診、特養、小児～高齢者まで対応している ● ピラティス教室を地域で実施し、住民の健康増進及び介護予防に取り組んでいる。 ● 月 2 回（第 1・3 水曜日）、診療所医師・看護師、地域包括支援センター、社協、特養、デイサービスセンター等のスタッフで地域ケア会議を開催・連携し地域の包括的ケアに取り組んでいる ● 電子カルテ（Web 型）による診療

研修連携施設	四万十市国民健康保険西土佐診療所
医師・専門医数	● 総合診療専門研修特任指導医 1 名（医師会から推薦された医師 1 名）
病床数・患者数	● 診療所病床数 19 床 ● １日平均外来患者数 42 人 ● 年間救急搬送対応 34 件 ● 訪問診療　月 3 件
施設の特徴	● 総合診療科、リハビリテーション科を標榜し、病棟では主に慢性期の患者対応を行っている ● 西土佐地域で唯一の医療機関として、幅広い患者に対応し、幡多けんみん病院や愛媛県宇和島市立病院などと連携し、地域の医療ニーズに応えている ● 隣接する介護老人福祉施設やケアハウス、西土佐地域内のグループホーム、有料老人ホームなどとも連携し、在宅医療や施設看取りの対応なども行い、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる ● 西土佐地域内の保育所、小・中学校の校医や、事業所の産業医も行っており、西土佐地域の医療機関として、多面的に取り組んでいる



12. 専門研修の評価について

本研修プログラムの根幹と位置づけ、専攻医と指導医が相互に評価をおこないます。以下 3 点を中心に評価をおこないます。

1) 定期的な振り返り

3 年間を通じて専攻医の研修状況の進捗を切れ目なく継続的に把握するシステムを構築します。具体的には、専攻医と指導医が定期的に振り返りをおこない、症例ログの確認、ビデオレビュー、最良作品型経験省察研修録（ポートフォリオ）の相談を行います。その際、日時と振り返りの主要な内容について「オンライン研修手帳（J-GOAL）」に記録を残します。指導医は、現在研修中の施設の指導医に加えて施設外の指導医を指定して指導を受けます。

2) 最良作品型経験省察研修録（ポートフォリオ）作成

到達目標を見据えた研修を促すため、最良作品型経験省察研修録（ポートフォリオ）作成の支援を通じた指導をおこないます。指導医は各々の研修施設での定期的な振り返りにおいて、経験省察研修録（ポートフォリオ）作成状況を確認、適切な指導を提供します。また施設内外にて最良作品型経験省察研修録（ポートフォリオ）の発表会を年 3 回おこないます。

3) 研修目標と自己評価

専攻医は研修目標の各項目の達成段階について、研修手帳を用いた自己評価をおこないます。また指導医は、定期的な振り返りの際に、研修目標の達成段階を確認し適切に指導します。そして研修ブロック毎と年次の最後に、進捗状況に関する総括的な確認をおこない、現状と課題に関するコメントを記録します。また年次の最後には、1 年間の振り返りをおこない、指導医からの形成的な評価を研修手帳に記録します。

上記以外に、実際の業務に基づいた評価として、診療場面の直接観察による短縮版臨床評価テスト（Mini-CEX）やケースに基づくディスカッション（Case-based discussion）を 3 か月に 1 回程度、実施します。また多職種による 360 度評価を各年次内に 1 回以上実施します。

【内科ローテート研修中の評価】

内科ローテート研修においては、症例登録・評価のため、内科領域で運用する専攻医登録評価システム（総合診療版 J-Osler）による登録と評価をおこないます。これは期間が短くとも研修の質をできる限り内科専攻医と同じようにすることが総合診療専攻医と内科指導医双方にとって運用しやすいからです。

6 か月の内科研修の中で、20 例（12 か月の研修では 40 例）を目安として入院症例を受け持ち、その入院症例（主病名、主担当医）のうち、提出病歴要約として 5 件（12 か月の研修では 10 件）を登録します。分野別（消化器、循環器、呼吸器など）の登録数に所定の制約はありませんが、可能な限り幅広い異なる分野からの症例登録を推奨します。病歴要約については、同一症例、同一疾患の登録は避けます。

提出された病歴要約の評価は、所定の評価方法により内科の担当指導医がおこないます。

内科研修終了時には、病歴要約評価を含め、技術・技能評価、専攻医の全体評価（多職種評価含む）の評価結果が専攻医登録・評価システムによりまとめられます。その評価結果を内科指導医が確

認し、高知家総合診療専門研修プログラムの統括責任者に報告します。

専攻医とプログラム統括責任者がその報告に基づいて、研修手帳の研修目標の達成段階を確認したうえで、プログラム統括責任者がプログラム全体の評価制度に統合します。

【小児科及び救急科ローテート研修中の評価】

小児科及び救急科のローテート研修においては、基本的に総合診療専門研修の「オンライン研修手帳（J-GOAL）」を活用しながら各診療科で遭遇する common disease をできるかぎり多く経験し、各診療科の指導医からの指導を受けます。

3 か月の小児科及び救急科の研修終了時には、各科の研修内容に関連した評価を各科の指導医が実施し、総合診療プログラムの統括責任者に報告することとなります。

専攻医とプログラム統括責任者がその報告に基づいて、研修手帳の研修目標の達成段階を確認したうえで、プログラム統括責任者がプログラム全体の評価制度に統合します。

【指導医のフィードバック法の学習（FD）】

指導医は、最良作品型経験省察研修録（ポートフォリオ）、短縮版臨床評価テスト、ケースに基づくディスカッション及び 360 度評価などの各種評価法を用いたフィードバック法について、指導医資格の取得時に義務づけている指導医講習会の受講や本研修プログラム内での FD 企画、また医学教育のテキストを用いて学習を深めていきます。

13. 専攻医の就業環境について

本研修プログラムでは、専攻医は一般社団法人高知医療再生機構において研修期間を通して常勤職員として雇用されます。

基幹施設及び連携施設の研修責任者とプログラム統括責任者は専攻医の労働環境改善と安全の保持に努めます。専攻医の勤務時間、休日、当直、給与などの勤務条件については、労働基準法を遵守し、各施設の労使協定に従います。さらに、専攻医の心身の健康維持への配慮、当直業務と夜間診療業務の区別とそれぞれに対応した適切な対価を支払うこと、バックアップ体制、適切な休養などについて、勤務開始の時点で説明をおこないます。

研修年次毎に専攻医及び指導医は専攻医指導施設に対する評価もおこない、その内容を高知家総合診療専門研修管理委員会に報告します。研修管理委員会は、専攻医の労働時間、当直回数などを把握し、適切な労働環境であることを確認するとともに、問題がある場合は専攻医指導施設に改善を促します。

また、ローテート研修における生活面も含めた各種サポートや学習の一貫性を担保するために専攻医にメンターを配置し定期的に支援するメンタリングシステムを構築します。メンタリングセッションは数か月に一度程度、実施します。

14. 専門研修プログラムの改善方法とサイトビジットについて

本研修プログラムでは専攻医からのフィードバックを重視し、本研修プログラムの継続的な改良をおこないます。

1) 専攻医による指導医及び本研修プログラムに対する評価

専攻医は、年次毎に指導医、専攻医指導施設、本研修プログラムに対する評価をおこないます。また指導医も専攻医指導施設、本研修プログラムに対する評価をおこないます。高知家総合診療専門研修管理委員会ではこういった専攻医や指導医らからの評価を分析、活用して、本研修プログラムをより良いものに改善していきます。

なお、こうした評価内容は記録され、その内容によって専攻医に対する不利益が生じることはありません。

研修管理委員会は、必要と判断した場合、専攻医指導施設の実地調査及び指導をおこないます。そして評価に基づいて何をどのように改善したかを記録し、毎年 3 月 31 日までに日本専門医機構に報告します。

また専攻医が日本専門医機構に対して、直接、指導医やプログラムの問題について報告し改善を促すこともできます。

2) 研修に対する監査（サイトビジット等）・調査への対応

本研修プログラムに対する日本専門医機構からのサイトビジット（現地調査）が予定されています。その視察結果と評価にもとづいて、研修管理委員会が本研修プログラムの改良をおこないます。そして本研修プログラム更新の際には、サイトビジットによる評価の結果と改良の方策について日本専門医機構に報告します。

また総合診療専門研修プログラムの継続的改良を目的として、総合診療領域の複数のプログラム統括責任者が他の研修プログラムを視察・評価をするサイトビジットを実施します。その際には、専攻医に対する聞き取り調査などをおこなう予定です。

15. 修了判定について

3 年間の研修記録にもとづいて、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか、また症例経験数が日本専門医機構の要求する内容を満たしているものであるかどうかを、専門医認定申請年の 3 月末までにプログラム統括責任者または専門研修連携施設担当者が研修管理委員会において評価し、プログラム統括責任者が修了の判定をします。その際、以下の 4 つの基準をもとに評価をおこないます。

1) 研修期間を満了し、かつ認定された研修施設で総合診療専門研修Ⅰ及びⅡ各 6 か月以上・合計 18 か月以上、内科研修 6 か月以上、小児科研修 3 か月以上、救急科研修 3 か月以上をおこなっていること
2) 専攻医自身による自己評価と省察の記録、作成した最良作品型経験省察研修録（ポートフォリオ）を通じて、到達目標がカリキュラムに定められた基準に到達していること
3) 研修手帳に記録された経験目標が全てカリキュラムに定められた基準に到達していること
4) 研修期間中複数回実施される、医師・看護師・事務員等の多職種及び患者による 360 度評価（コミュニケーション、チームワーク、公益に資する職業規範）の結果も重視します

16. 専攻医が専門研修プログラムの修了に向けておこなうべきこと

専攻医は研修手帳及び最良作品型経験省察研修録（ポートフォリオ）を専門医認定申請の 3 月末までに高知家総合診療専門研修管理委員会に送付します。研修管理委員会は 3 月末までに修了判定をおこない、研修修了証明書を専攻医に送付します。

専攻医は日本専門医機構の総合診療科専門医委員会に専門医認定試験受験の申請をおこないます。

17. サブスペシャルティ領域との連続性について

サブスペシャルティ専門研修にむけた連続性のあるプログラムとするため、各領域と検討を重ねています。現在、日本プライマリ・ケア連合学会認定の家庭医療専門医プログラムである高知家家庭医療専門研修プログラムとの重複研修を可能にしています。本研修を受けながら、よりレベルの高い国際標準の家庭医療について学び、1 年間の追加研修により修了することができます。さらに、病院総合診療専門医など、他のサブスペシャルティ領域についても検討を進めていきます。

プログラム統括責任者が専攻医の基本領域研修と希望するサブスペシャルティ領域研修の調整をおこない、専攻医ごとの研修プログラムを作成します。

18. 総合診療研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件

1) 専攻医が次の 1 つに該当するときは、研修の休止が認められます。研修期間を延長せずに休止できる日数は、所属プログラムで定める研修期間のうち通算 6 か月までとします。なお、内科・小児科・救急科・総合診療Ⅰ・Ⅱの必修研修においては、研修期間がそれぞれ規定の期間の 2／3 を下回らないようにします。
   ① 病気の療養
   ② 産前・産後休業
   ③ 育児休業
   ④ 介護休業
   ⑤ その他、やむを得ない理由

2) 専攻医は原則として 1 つの専門研修プログラムで一貫した研修を受けなければなりません。ただし、次の 1 つに該当するときは、専門研修プログラムを移籍することができます。その場合には、プログラム統括責任者間の協議だけでなく、日本専門医機構への相談等が必要となります。
   ① 所属プログラムが廃止され、または認定を取り消されたとき
   ② 専攻医にやむを得ない理由があるとき

3) 大学院進学など専攻医が研修を中断する場合は専門研修中断証を発行します。再開の場合は再開届を提出することで対応します。

4) 妊娠、出産後など短時間雇用の形態での研修が必要な場合は研修期間を延長する必要がありますので、研修延長申請書を提出することで対応します。

19. 高知家総合診療専門研修管理委員会

基幹施設である高知大学医学部附属病院には、高知家総合診療専門研修管理委員会（以下、研修管理委員会）と、専門研修プログラム統括責任者を置きます。研修管理委員会は、委員長、副委員長、一般社団法人高知医療再生機構理事長、及び連携施設の研修責任者で構成されます。専門研修プログラム統括責任者を委員長とします。研修プログラムの改善へ向けての会議には専門医取得直後の若手医師代表が加わります。研修管理委員会は、専攻医及び専門研修プログラム全般の管理と、専門研修プログラムの継続的改良をおこないます。専門研修プログラム統括責任者は一定の基準を満たしています。

【基幹施設の役割】

基幹施設は連携施設とともに施設群を形成します。基幹施設に置かれた専門研修プログラム統括責任者は、総括的評価をおこない、修了判定をおこないます。また、専門研修プログラムの改善をおこないます。

【研修管理委員会の役割と権限】

1. 専攻医の研修管理に関すること
   - 専門研修を開始した専攻医の把握と日本専門医機構への専攻医登録
   - 専攻医ごとの、研修手帳及び最良作品型経験省察研修録（ポートフォリオ）の内容確認と、今後の専門研修の進め方についての検討
   - 研修手帳及び最良作品型経験省察研修録（ポートフォリオ）に記載された研修記録、総括的評価に基づく、専門医認定申請のための修了判定
   - 専門研修プログラム応募者の採否決定
2. 各専門研修施設の状況の確認及び評価
   - 前年度診療実績、施設状況、指導医数を把握し、現在の専攻医数を考慮したうえ~~上~~で次年度の専攻医受け入れ数の決定する
   - 専攻医による専門研修施設及び指導医の評価を実施する
   - 評価結果に基づく状況把握、指導の必要性の決定
   - 各専門研修施設の指導報告
3. 専門研修プログラムの評価及び改良
   - 専攻医及び指導医による専門研修プログラムに対する評価を実施する
   - 評価の結果に基づいた専門研修プログラム改良に向けた検討
   - サイトビジットの結果報告と専門研修プログラム改良に向けた検討
   - 日本専門医機構へのプログラムの評価及び改良についての報告
4. 専門研修プログラム連絡協議会の結果報告

【副専門研修プログラム統括責任者】

プログラムで受け入れる専攻医が専門研修施設群全体で 20 名をこえる場合、副専門研修プログラム統括責任者を置きます。副専門研修プログラム統括責任者は専門研修プログラム統括責任者を補佐します。また、専門研修プログラム統括責任者が必要と認めた場合は専攻医の人数によらず、副専門研修プ

ログラム統括責任者を置くことができます。

【連携施設での委員会組織】

専攻医が研修中の連携施設においては、少なくとも 3 か月に 1 回は指導医等による連携施設研修管理委員会を開催し、専攻医の情報共有とともに施設内の指導医間の連携体制を構築します。連携施設研修管理委員会は、専攻医の勤務状況、研修ローテーション、研修の進捗状況の確認し、議事録を作成します。各連携施設は、議事録の複写をプログラム統括責任者に提出します。

【指導医会議】

プログラム統括責任者、専攻医が研修中の連携施設の指導医により月 1 回程度、指導医会議を開催します。指導医会議では、専攻医の状況の確認の他、プログラム全体の教育活動（ポートフォリオ発表会、研修会、360 度評価）についても協議し、プログラムの質向上に努めます。

20. 総合診療専門研修特任指導医

本プログラムには、総合診療専門研修特任指導医が総計 45 名在籍しています。

高知大学医学部附属病院	1 名	県立あき総合病院	3 名
県立幡多けんみん病院	2 名	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター	2 名
社会医療法人近森会近森病院	2 名	独立行政法人国立病院機構高知病院	1 名
社会医療法人仁生会細木病院	1 名	いずみの病院	2 名
JA 高知病院	1 名	土佐市立土佐市民病院	3 名
高知医療生活協同組合高知生協病院	3 名	医療法人臼井会田野病院	2 名
医療法人公世会野市中央病院	1 名	独立行政法人地域医療機能推進機構高知西病院	1 名
本山町立国民健康保険嶺北中央病院	2 名	いの町立国民健康保険仁淀病院	2 名
佐川町立高北国民健康保険病院	2 名	梼原町立国民健康保険梼原病院	1 名
医療法人五月会須崎くろしお病院	2 名	くぼかわ病院	2 名
四万十市国民健康保険四万十市立市民病院	2 名	大月町国民健康保険大月病院	1 名
医療法人聖真会渭南病院	1 名	医療法人長生会大井田病院	1 名
やまと診療所高知	1 名	社会医療法人仁生会日高クリニック	1 名
仁淀川町国民健康保険大崎診療所	1 名	四万十町国民健康保険大正診療所	不在
四万十市国民健康保険西土佐診療所	1 名		

専攻医の数に対して十分な数の指導医が在籍しています。指導医が 1 名のみの連携施設において、人事異動や傷病など何らかの理由により指導医が不在になるなど十分な指導体制が確保できないような場合は、基幹施設などの指導医がバックアップすることにより専攻医が不利益を被らないように配慮します。

指導医には臨床能力、教育能力について、7 つの資質・能力を具体的に実践していることが求められており、本プログラムについてもレポートの提出、総合診療専門研修特任指導医講習会受講を経て、理解度などについての試験をおこなうことでその能力が担保されています。

なお、指導医は以下の(1)～(8)のいずれかの立場で卒後の臨床経験 7 年以上を有します。

（1） 日本プライマリ・ケア連合学会認定のプライマリ・ケア認定医、及び家庭医療専門医

（2） 全自病協・国診協認定の地域包括医療・ケア認定医

（3） 日本病院総合診療医学会認定医

（4） 日本内科学会認定総合内科専門医

（5） 地域医療において総合診療を実践している日本臨床内科医会認定専門医

（6） （7）の病院に協力して地域において総合診療を実践している医師

（7） 大学病院または臨床研修病院にて総合診療部門（総合診療科・総合内科等）に所属し総合診療をおこなう医師

（8） 都道府県医師会ないし郡市区医師会から≪総合診療専門医専門研修カリキュラムに示される「到達目標:総合診療専門医の 7 つの資質・能力」について地域で実践してきた医師≫として推薦された医師

本プログラムにおいては、(1) 16 名、(2) 4 名、(4) 1 名、(6) 9 名、(7)13 名、(8) 2 名が参画しています。

21. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について

【研修実績及び評価の記録】

専攻医は「オンライン研修手帳（J-GOAL）」にある所定のフォーマットに研修実績を記録し、指導医による形成的評価、フィードバックを受けます。指導医は、定期的な研修の振り返りの際に、研修目標の達成段階を確認し適切な指導を提供するとともに、進捗状況に関する確認を年 1 回おこない、現状と課題に関するコメントを J-GOAL に記録します。

高知家総合診療専門研修プログラム事務局にて、専攻医の研修内容、目標に対する到達度、専攻医の自己評価、360 度評価と振り返り等の研修記録、研修ブロック毎のブロック評価、修了判定等の記録を保管するシステムを構築し、専攻医の研修修了または研修中断から 5 年間以上保管します。本システムの運用に際しては、日本専門医機構が公表している「研修手帳」と「指導医マニュアル」を用います。

22. 専攻医の採用

【採用方法】

高知家総合診療専門研修管理委員会は、毎年 6 月から説明会等をおこない、総合診療専攻医を募集します。詳細は、本研修プログラムのウエブサイト（http://www.kochi-ms.ac.jp/~ff_famed/program2.htm）で公表しますので必ずご参照ください。プログラムへの応募者は、指定した期日までにプログラム統括責任者あてに所定の形式の『高知家総合診療専門研修プログラム応募申請書』及び履歴書を提出してください。申請書は（1）本研修プログラムのウエブサイトよりダウンロード、（2）電話で問い合わせ（088-880-2761）、（3）e-mail で問い合わせ（kochisogopg@gmail.com）、のいずれの方法でも入手可能です。原則として 11～12 月に書類選考及び面接をおこない、2 月の研修管理委員会において採否を決定して本人に文書で通知する予定です。

【研修開始届け】

研修を開始した専攻医は、各年度当初の指定した期日までに以下の書類等を、高知家総合診療専門研修管理委員会（kochisogopg@gmail.com）に提出します。1 及び 2 については、採用が決定した段階で研修開始予定者に研修管理委員会より採用予定者に送付します。

1. 専攻医の氏名と医籍登録番号、専攻医の卒業年度、専攻医の研修開始年度
2. 専攻医の履歴書
3. 専攻医の臨床研修修了登録証（コピー）あるいは修了見込み証明書
4. 医師免許証（コピー）